大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　四月廿三日（月）

發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷磐二郎

軍備は安全感を脅威されぬ程度に
大臣は代つても方針は不變
陸相ユ大使に説明

（東京國通）ユレニエフ大使は昨二十一日午後三時官邸に林陸相を訪問し國防軍備問題で林陸相を質したところ林陸相は

日本國民は如何なる場合においても進んで自らは武力を用ひないが安全感を脅威されぬ程度の軍備が必要である、日本の陸軍は陸相の更迭等により國防計畫が變更される樣なことはない、日本は正義の爲には如何なる犧牲を拂つても起つ準備と決心がある

と詳細説明し「荒木は好戦將軍だが林は非戦論者だ」との見解の如きは認識不足で荒木將軍も平和論者であると強調し、ユレニエフ大使は會見一時間で辭去した

北鐵交渉の使命を帶び
施履本氏入京

（東京國通）滿洲國外交部北滿特派員施履本氏は二十二日午後五時名士多數出迎裡に入京したが同氏の來朝は近く再開される北鐵交渉に重要建策を爲すものとして注目されて居る

ユ大使本國へ
會見談内容を打電

（東京國通）ユレニエフ大使は二十一日午後三時林陸相と會見後會談内容を本國へ打電したがその内容は左の通りである

ユレニエフ大使　昨年十一、二月頃より日ソ開戦説が傳へられたゝめソ聯人心の緊張せるは遺憾であるがソ聯の情勢は戰爭を許さず日本と開戦の意思を有し居らず、貴國でも平和主義の閣下が大臣になられた故不幸なる事態が起る可能性はなくなつたのは欣快に堪えぬ、今後兩國の友好助成に努力を切望する

林陸相　日本は建國以來他國へ侵略した事實はなく現在及び將來も誰が大臣になつても變らない、貴國は勿論如何なる國へも挑戰する意思を有つて居ないのであつて自分のみが平和主義者と言ふ譯ではない、而して武力以外に國家安全を保證し得ぬ際は相手國の何たるを問はず如何なる犧牲を拂つても之を壓倒するの決意を有す、この精神は帝國の平和主義に反せぬと信ず

ユレニエフ大使　滿洲問題への見解如何

林陸相　平和確立の傳統的精神より見て滿洲問題の解決は永く日本の惱みであつたこのために武力を發動することは好ましからぬ事だがその眞意は平和確立にある今後は滿洲國の堅實な發達のため能ふ限りの援助をなす方針であるが往々にしてこの信念を曲解して侵略行動で滿洲の次ぎにはシベリアを分割し獨立させる等と浮説があるがこれは無根の浮説である

地方長官會議
防空を强調

（東京國通）地方長官會議は五月三日より一週間招集されるので目下陸相手許で訓辭案を研究中であるが、徵兵關係學校訓練、靑年訓練、恤兵事業、軍事救護、國防獻金等を强調する外防空施設に最も重きを置く模樣である

大乘的見地より財政策を轉向
高橋財政傳統的財政理論放擲
明年度の財政注目

（東京國通）財政計畫樹立の衝に當る財政當局の從來の財政理論は歳計の收支均衡偏重主義に傾き收支均衡のためには凡有る手段を盡し天引き主義的行政整理、財界の發展を

＝抑壓＝

する如き財政の整理緊縮、思ひ切つた增税計畫の立案、公債計畫の縮少等を斷行して專ら財政のための財政擁護に終始しその結果經濟界の各般に如何なる影響を及ぼすかに殆んど之を介するところ無き感があつたが、現下の資本主義老衰期では經濟界の維持のため政府の保護行政、補助行政が特に重大性を加ふるに至り、財政計畫の基礎理論の如きも從來の歳計均衡主義に拘泥せず諸般の國策に重點を置き大乘的見地より財政計畫を立案すべき必要が緊迫を告げるに至つた、而して高橋藏相の財政は主として斯かる時代の要求に依つて編成されたものであるが藏相就任以來二ケ年の實績に鑑みると當初兎角不安視せられ危惧せられて居た赤字財政が反つて

＝財界＝

の恢復に直接間接に非常な好結果を齎し、之が更に財政の上に巨額の自然增收を齎す事となつた事實によつて財政當局は從來の財政理論を一擲し高橋財政を理論づけるべく一大轉向を來しつつある此の結果は當然十年度の財政計畫にも具體化されるものと觀られ其の態度は頗る注目されて居る

パナマ運河渡航に二週間かゝる
蜒々長蛇百十三隻の米大艦隊

〔パナマ二十一日發國通〕二十一日午前パナマ運河地帶の防禦演習を了へた米國聯合艦隊に愈よ太平洋より大西洋に出でカリブ海方面で演習を行ふべく同日午後よりパナマ運河の渡航を開始した蜒々長蛇百十三隻の大艦隊が狹隘な甲門式運河を通過する事とて全艦隊が僅か五十哩のパナマ運河を通過し終る迄には前後實に二週間の長時日を要し、同艦隊がカリフオルニアよりパナマに至る三千三百哩を航行し來つたよりも更に長時間を必要とする離業事で士官連もパナマ運河開通以來今回程の大艦隊を擁して通過したことは未曾有の事であると言つて居る

滿洲事變從軍徽章
卅五萬に授與

（東京國通）滿洲事變論功行賞は去る三月三十一日を以て打切られ、それ以後に於ける出動部隊の功績に就いては改めて考慮されることになつたが今回の事變關係者に對して從軍徽章を授與されることになり此の程賞勳局で徽章の意匠圖案等を作成し陸軍其他關係當局の同意を得たので近く正式決定を見ることになつたが關係當局では出來るだけ論功行賞と共に授與したき意向であつて徽章は昭和七、八、九年事變從軍徽章とし授與者は事變出動者及び事變關係者各關係當局動員事務等に關係した市町村役員等にしてその總數は三十五六萬人に上る豫定である

高橋藏相
台銀疑獄に徹底的調査を希望

〔東京特電〕高橋藏相は台銀疑獄事件が政局の前途に暗影を投げ居るは面白からぬ事と

首相の兩黨總裁訪問
暫く延期

（東京國通）齋藤首相は三土鐵相、永井拓相と協議した結果鈴木、若槻兩總裁訪問を暫く延期することとなつた、之は

一、政友が文相問題で齋藤首相の措置を非難し後任推薦を拒絶する意向であり、又米穀問題に關しては六十五議會では臨時議會召集を決議して居るが、堀切書記官長は『米穀對策は十年度豫算を無視しては出來ない』と放言せるため院議無視だと反感を抱いて居る

一、米穀生產費調査委員會事務調査のため政黨代表を求むるは非常な無禮である等の議論もあり斯くの如く政友が齋藤首相に反感を懷いて居る以上鈴木總裁との會見は效果がないのみか逆用される惧れがあるためである、而し齋藤首相は何等悲觀せず文相後任を政友よりとり政策具體化に就いては政民の支援を仰ぐ方針を變へず、情勢の變化と政友が冷靜にかへるのを待ち懸案解決に努力する筈である

し之が徹底的調査を希望し居り司法部の取調べに對しては冷靜なる態度をもつて注視してゐる、而して大藏省自身が調査がましき事をせず消極的態度を以て傍觀してゐる

政友聯繫に冷淡

〔東京國通〕政黨聯繫問題に關し民政黨では黨幹部も多數黨員も熱意を有してゐるが、政友の内部には民政の期待に副はぬもの多く悲觀説さへ一部に擡頭し居り、幹部の認識に疑問を懷くものさへ出るに至つた

滿鐵改組は
勅令事項の改革に止めん
＝林陸相の態度＝

（東京國通）林陸相は滿鐵改組問題の解決のため速かに滿洲を

＝中心＝

とする國策決定のために關係方面と懇談を爲し、これが根本方針を決定すべきであるとし一方從來の經過を聽取すると共に上京中の岡村關東軍參謀副長から關東軍の現地案に對する意向を聽取しつつあつたが、更に近日中拓務省、外務省、大藏省等關係閣僚と會見して改組問題につき忌憚なき意見の交換を行ひ、今後の審議方針を協議する事になつた而して陸軍首腦部當局の意向を綜合するに改組問題に關する[illegible]の難關あり、從つて今後にても根本的改組に就ては幾多の意見が出て容易に決定せざるものと觀られるが、從來でも監督機關を整備する如き

＝改革＝

に就ては陸軍拓務兩當局の間に大体意見の一致をみて居り斯る改革丈けであれば別に議會の協贊を待たず勅令を以てする事が出來るので、陸相も今後の考究の結果によつては勅令による改革のみに止める事になるやも知れぬと觀て居る

治法撤廢を眼目に
領事會議注目
來月八日から十三日まで
新京で開催さる

來る五月八日より十二日まで四日間駐滿大使館において在滿領事會議が開催されるが、その會議の内容は次の如き問題に關して各領事の報告ありその他執務上の連絡打合せをなすものである

一、各地方狀況の報告
一、各地方における治安の問題
一、治外法權の問題
一、邦人朝鮮人の發展狀況
一、帝制實施後の影響

等である、なほ當日は司法領事、關東廳、朝鮮總督府の各外事課長の出席もあり、本會議の論議の中心となるべき問題は

一、治外法權の撤廢に進むべき過渡期においては如何なる處置をとるべきか
一、全滿各地の邦人、朝鮮人學校の醫療、保健、衞生施設に關する件
一、在留日本人の警察取締り問題
一、朝鮮人の農業に對する指導

等が研究論議せらるゝものである

政黨出身の大臣に排撃の狼火
綱紀問題その他をとらえ
廿万鐵道從業員が

（東京國通）全國二十萬の鐵道從業員が構成する現業委員會は現内閣の綱紀問題その他を捉へ政黨出身の大臣排撃の聲をあげんとして居る即ち鐵道は兎角政黨の喰ひ物となり寒心に堪えず鐵道利益金の一般會計繰入れは從業員待遇を惡化させるものとして重大視して居る

民政の對政府態度
依然不卽不離
三根本方策樹立は結構
不穩の言動は愼む

〔東京國通〕近來民政黨の對政府感情は從來に比し相當硬化してゐるが、根本的に態度變更の時期に達せず、若槻、鈴木兩總裁の會見あるも根本方針には影響はないとし、政策問題を中心に諒解を求め得れば

一、民政は元來政府援助をモツトーとして居る故政府が今回三根本策を樹立せんとするは時期遲れとは言へ結構なことである、問題は實行の點であるから政友會でも適當の方針を定めたら確固たる信念を以つて當られたい

と應酬の筈であり、若槻總裁も

民政が内閣崩潰に拍車を加へる樣な言動は一切愼み、又之に突支棒をする必要も認めない

との意向を有して居るから政策提携に積極的熱意を見せずに會見を終るものと觀られて居る

煮え切らぬ文相詮衡問題
貴院に不滿昂まる

（東京國通）貴族院では齋藤首相の文相問題に對する持久的

新京吉林間國道
六月中に完成

（吉林國通）新京吉林間の幹線國道は解氷期に入つてより本格的工事を急ぎつゝあり、各工事區とも目覺ましき進捗振りを示し起工以來約一ケ年のこの六月中には全線百十三キロの竣工を見る豫定である

上海日本人俱樂部
新建築案成る

〔上海二十二日發國通〕二十一日夜改革後の上海日本人俱樂部定期總會に於いてクラブ改築案を可決委員會を設けて急速に實現せしめる事となつた、新建築は適當の地を求め八十七萬七千餘圓を似て鐵筋コンクリート七階建延坪三千六百二十七坪、圖書館、公會堂を併置する堂々たる大建築である

富永星三氏
射殺さる

〔ハルビン國通〕北滿の馬賊通として自他共に許し廣瀨○團の匪賊討伐に拔群の功績を樹てた富永星三氏は二十一日午後十時三十分頃當地馬家溝協和街の自宅に於て入浴をすまし入疊居間前の廊下に於いてモーゼル拳銃を所持せる三人組滿人强盜に射殺された、尙賊は國幣五百圓貴金屬多數を强奪逃走した、急報により當地憲兵隊員現場に急行死体を檢視すると共に目下犯人嚴探中であるが同氏の死は各方面から惜まれて居る

吉林奧地に鼠賊出沒
避難民吉林に二百名突破

（吉林國通）當地の難民收容所は一頃匪賊跳梁時には數百名の多數に上りたるも數次の

時局後援會長
警備隊に感謝

新京時局後援會々長荒木章氏は二十三日午前十一時大和ホテルに新京警備隊幹部十二名を招待して午餐をともにし市民に代つて警備隊に對して謝辭を述べた

列車區長會議

新京列車區長主催の列車區長會議は二十三日午前九時から驛貴賓室で開かれた、大連、奉天列車區長及び新京列車區長、鐵道事務所長、營業係長旅客主任など七、八名の出席者あり、業務上の打合せ會議が行はれた

送り、難民も減少の一路をたどり、昨冬以來百名に足らぬ小數であつたが、最近解氷期に伴ふ鼠賊の出沒のため又復增加しまさに二百名を突發する狀態であり、地方の治安を反映するものとして憂慮されてゐる

その日〳〵

□

政黨出の大臣を鐵道職員が排擊、利權の伴ふ處であり、疑獄事件の巢、さもありなん

□

文相問題、いよいよ出でゝいよいよ迷ふ、モンク大臣といふところ

□

全滿領事會議、第一の問題は治法撤廢、充分に研究と考慮が第一

□

二十九日の天長節、空前の觀兵式を擧行、軍國日本の春を記憶するにまた新

□

二十七日靖國神社臨時大祭、新に合祀される英靈のため冥福を祈らん

人事往來

▲渡邊獸醫監（關東軍獸醫部長）二十二日午後三時三十五分着哈市から
▲耶宗熙氏（尙書府大臣）同上
▲ボカネンコ氏（駐奉天ソ聯領事館書記生）同上同日午後四時三十分發奉天へ
▲日下辰太氏（關東廳內務局長）二十二日午後七時三十分着大連から
▲鹽原時三郎氏（大使館秘書官）同上
▲吉田豐彥氏（關東軍特務部附）同上
▲河本大作氏（滿鐵理事）二十三日午前七時着大連から
▲張亞東氏（北鐵新京辦事處々長）二十三日午前八時十分發哈市へ
▲岡崎主計正（近衞師團經理部）同上
△木原中將（滿鐵顧問）同上

團体

▲北滿訪日交作團十八名二十七日午前六時來京二十八日午前八時三十分發哈市へ
▲香川師範學生六十五名二十八日午前六時來京、富士屋投宿二十九日午前十一時三十分發奉天へ
▲宮崎縣延岡中學生五十五名二十八日午後一時五十五分來京北滿旅館投宿離京日未定
▲旭川驛主催團二十五名三十日午前六時來京同日午前六時三十分發吉林へ
▲奈良師範學生九十五名三十日午後六時五十分來京協和旅館投宿五月一日午後四時三十分發南下

日滿悲曲
生命線を行く
（舞臺上演・映畫）
國友雄吉　（荒川芳三郎畫）
（百五十一）

あの人つて誰

……は、此席へ勝代を呼んだことを、今更後悔した。彼女の口から、若し楠本のことが伸一に知れはしないかと、それを恐れたのであつた。

果して勝代は、最初から變な目で二人を見て居つた。なにしろ一方は、れつきとした銀行家。一方は滿洲ゴロ。どう考へても、怪しい組合せであつた。

しかし三人は、其の夜ズット遲くなるまで金水に居て、酒も座興もともに隨分はずんだし、勝代に三味線を彈かして、楠本が濁み聲を張り上げて、鴨綠江を唄つたりしたところは、如何にも愉快さうであつた。

しかし、それは表面だけであつた。表面は、如何にも愉快さうだが、その實、三人は思ひ〳〵に歡しながら、相手の氣持を探り合ふことを怠らなかつた。

その中に、醉つた紛れに口を滑らしたのか、或ひは胸に一物あつてのことか、楠本が、ニタ〳〵笑ひながら、

「ネエ、勝代さん、それ以來あの人には、始終逢つて居るのだらうね──お安くないんだからね」と遣り出した。

勝代は、ハツとした。邦彦もギクツとした。

言ふまでもなく、それは伸一のことにきまつてゐる。

「楠本の奴、餘計なこと、言はなきやいゝに──」と、邦彦は、苦々しく思つたが、偖て、どうすることも出來なかつた。

勝代は、わざと空とぼけた。

「あの人つて、誰のこと？」

「しらばつくれるぜ。ヘン、百も承知のくせに。ソレ、チチハルの町で、泣いて別れた好い人のこと──」

楠本はさう言つて、殊更ら邦彦の方へ、意味有り氣な視線を向けた。

邦彦は、思はず固唾を呑んで、勝代の口許に注意した。「スワこそ」何を彼女は言ひ出すだらう？」と思つたのだ。

「あゝ分つた氏家さんのこと？」

微かに醉の滲んだ顏を傾けて、逆襲した勝代であつた。

楠本は、聊かタヂ〳〵とした。

「マア、あなたは、隨分しい方ね。あの人のこと、よく忘れないで居てくださるわね。有難う──さあ感謝のしるしに、先づ一杯！」

盃を持つた勝代の手が、楠本の目の前へ伸びて來た。

「さうか。ヤ、有難う」

楠本の手が、盃を受けやうとした。すると勝代は手を振つた。

「嫌ふわよ。あたしが嬉しいからあたしが飲むの──あんた、お酌してちやうだい」

「オヤ〳〵、さうかい！」

毛蟲のやうに太い楠本の眉が、不滿らしくピク〳〵動いた。が、それを苦笑に紛らしながら素直に酌をしてやつた。

邦彦と勝代の間に、何事か特別の關係の無いことは、さつきからの空氣でどうやらハツキリして來た。それだけは、楠本も安心であつた。

「でも楠本さん。あんたまだ、眞實のこと知らないでせう」

「眞實の事とは、何だい？」

「あたしと、氏家さんとの、その仲は──て、ことなの」

「そんなこと、知らないよ」

意表を突いて鉾を出した形で、楠本は、反つて持て餘し氣味となつた。

勝代は、立てつゞけに二三杯呷りかけたので、次第に醉態を現はして來た。

「では、改めて披露するわ──嘉村さん、あなたもよく聞いて置いてね──あたしと、氏家さんとを結び付けて居る固い約束──」

そこ迄言つて、勝代は三味線を引寄せると、爪彈を始めた。

「一世も三世も夫婦ぢやと──契ふだけでも嬉しい──」

小聲に口ずさむ、小唄の一節。

「ほゝゝゝ」

三味線を下に、彼女は笑つた。

しかし、その聲に淚があつた。

天長節祝賀會廣告

一、日時　四月二十九日午前十一時
一、場所　新京西廣場小學校講堂
一、會費　金五十錢（會券ト引換ニ申受ク）
一、主催　新京總領事舘、新京地方事務所
滿洲國側、國務院總務廳秘書處總務科
一、申込場所　（會券引換所）
軍部關係、軍司令部副官部（會券引換所）
地方側、新京地方事務所庶務係（會券引換所）各區長（會券引換所）
一、申込期限　四月廿七日午後四時迄

廿九日の天長節に在京部隊の觀兵式
新京神社前で菱刈司令官閲兵
參加と陪觀の注意

來る四月二十九日天長節に在新京部隊の觀兵式を次の如く擧行せらるゝことになつた

一、集合　午前八時三十分
一、開始　午前九時
一、閲兵　場所

中央通　富士町（露月町一丁目角）を右翼として中央通の東側に西面に整列す

一、分列發起點は中央通蓬萊町岩井町の十字路角軍司令官觀閲の位置は新京神社の前

一、空中分列は午前九時二十分

一、陪觀希望の部外軍隊及團体（閲兵分列參加のものを除く）は中央通西側に位置する

なほ參加希望の團体（學校在鄕軍人會青年訓練所等）は參加を許可せらるはづで、二十六日正午までに參謀部に申込むよう規定されてあり、その代表者は二十六日午後一時北廣場に行き關東軍司令部參謀の指揮を受けること、また當日陪觀希望團体も場內整理の都合上團體名、人員數を二十六日正午までに關東軍司令部の參謀に申込まれたし

特に本年は招魂祭を盛大に
各官衙、學校、會社等も休む

今回あらたに靖國神社に合祀せらるる戰歿者一千六百六十八名（內陸軍關係千五百六十八名、海軍關係八十九名、大使館關係五名、關東廳關係二名、滿鐵關係四名）の

英靈を慰さむるため來る二十七日午前十時より新京神社において軍司令部、駐滿海軍部大使館、關東廳、地方事務所滿洲國その他各代表參列、軍隊學校各團體は祭典主催のもとに壯嚴なる式典を行はれることになつた、當日軍司令官はじめ滿洲國逐次參拜し、一般の參拜はその後（概ね正午頃）より許可せらるゝ筈であるなほ當日は正午より境內において劍道、相撲等の餘興があり夜は發麗映畫の活動寫眞を映寫し、また晝夜

花火を打上げ大いに氣勢をあげてこの一日を意義あらしめる等非常な意氣込みである

奉納劍道試合

擧行

二十七日の新京招魂祭當日奉納の目的をもつて午後一時より新京神社境內において劍道試合を擧行するが選手としての一般地方有志の參加者はなるべく廣く參加を希望するも諸種の關係上少年組十五名、大人組十名だけ參加を許るされるもので、希望者は二十四日までに關東軍司令部內招魂祭委員に申込まれたいと、なほ有志者多數の時は抽籤により決定せらるゝ筈である、申込の際は所屬名、段及級年齡氏名を記入することに規定されてゐる

先崎先生宅荒し
捕はる
贓品も發見

去る九日午後五時五十五分ごろ市內羽衣町三丁目十六番地の三新京高等女學校先崎ミツエさんが玄關先に現金三百三十六圓九十錢、カフスボタン十八金製箱入一個十八圓五十錢、サファイヤ一個二十二圓、ネクタイピン一個二十三圓、印鑑、寫眞、消費組合傳票を縮緬風呂敷に包んで置き炊事場に行つた間に何者かに竊取され、直に新京署總領事館署で極力犯人捜査中のところ二十一日右贓品の一部が城內止宿薪有章（三九）同長男新寶（八）で二人は百貨店內にて吳服部から女用セル無地一反、カーテン一枚、靴下四足、手袋一足、萬年筆一個を萬引したことを自白した

の某質舖にあるを總領事館署谷口刑事が發見し捜査の結果河北省生れ前科三犯棋文宗（二五）と判明し、犯人の潜伏場所を突止めるべく大谷內刑事巡捕とゝもに大活動を開始した結果犯人が城內市場平康里に潜伏してゐるを發見し二十三日午前一時隱家を襲ひ逮捕した、餘罪多數にのぼる見込である、贓品はいづれも發見された

大阪優良品展示會
十三、四兩日
演藝館で

大阪優良品協會展示會團一行二十名は大連で二日間、奉天で三日間商品見本展示會を催し、新京は來月十二日午前六時來京梅屋旅館に投宿して十三、四の兩日演藝館で展示會を開き、十五日午前八時三十分發でハルビンに行き同地で三日間展示會を開く豫定

帝人事件で
巨頭遂に檢擧
既に六氏收容さる

（東京國通）島田臺銀頭取等の帝人、神鋼株賣却に絡まる背任橫領告發事件は帝人本社關係調べのため下阪中の東京地方檢事局批把田、長尾兩檢事が十六日歸廳するに及んで俄然一進展するに至つた、東京地方檢事局の岩村檢事正は批把田、長尾兩檢事から大阪に於ける取調べの

經過を詳細聽取するや十七日午後檢事正室に平田次席、黑田主任檢事を交へ今後の取調べの方針につき重要協議を行つた結果一日も早く世間の疑惑を一掃するため急遽に眞相を摘發する事に大綱を決定、十七日朝大阪より護送し來つた帝人社長高木復享一同取締役岡崎旭の兩氏を警視廳に一先づ留置せしめた上、十八日午前八時半を期して第二次の檢擧を開始し、黑田主任檢事指揮の下に批把田、久保內、長尾の三檢事は八木田、吉本、篠原の三豫審判事と警視廳刑事の應援を求め三隊に分れ小石川區鷹繩町一五二臺銀理事柳田直吉氏邸、目黑區下目黑四八〇四臺銀整理部長越藤恒吉氏邸、麻布區廣尾町二東株理事、旭石油社長長崎英造、麴町區丸の內一ノ六ノ一海上ビル新舘四階旭石油會社社長（長崎英造）室の家宅捜査を行ひ多數の重要書類を押收して正午前後歸宅したが　この家宅捜査と同時に曩きに家宅捜査を受けた帝人取締役永野護同社監查役河合良成、並に當日家宅捜査を行つた臺銀理事柳川直吉、臺銀整理部長越藤恒吉、旭石油社長長崎英造の

五氏を各自宅から及上京中の大阪ブローカー村地久次郎を某所から夫々刑事同行で警視廳に引致午後から東京地方檢事局から出張の批把田、八木、堀（眞）久保內、長尾の五檢事から取調べを受けたのちさきに留置された高木帝人社長岡崎同取締役と共に背任並に橫領の嫌疑で同夜は檢事拘留で警視廳に留置、十九日市ヶ谷刑務所に强制收容する事となつた

新京百貨店の
萬引捕はる

二十三日午後八時三十分ごろ新京百貨店前で擧動不審の滿人男の親子連が客にまぎれ城內に行かんとするを巡ら中の朝日通派出所種田巡査が發見取調べると城內頭道街興安棧

街の日記
あすは商業
十四回記念日

新京商業學校では二十四日は第十四回開校記念日に相當するので當日は午前八時から開校記念式を講堂で擧げ東學校長から約一時間に亘つて式辭が述べられ後は休業である

淨土宗長春寺の
宗祖忌法要

二十四日と二十五日市內曙町淨土宗長春寺で宗祖法然上人の御忌法要を營む　尙同時に去る十二日百三歲の高齡で遷化した淨土宗管長山下現有僧正の追弔會を修行する二十四日午後二時よりと七時よりの二回、二十五日午後二時より又今後每月二十四日午後一時別時念佛會を修行

落しもの

▲老松町二丁目今井商會川口常子さんは二十一日午前九時三十分ごろ八島通郵便局から自宅に歸る途中モス靑色風呂敷包一個在中現金五圓郵便貯金通帳一冊額八十圓と川口印鑑一個を落した

▲城內西三馬路福昌公司倉庫內高橋喜久治氏は二十一日午後四時ごろ新京驛着列車の三等寢台に黑オーバ一着を置き忘れた

拾ひもの

▲吉野町森野商店足立廣信氏は二十三日午後三時ごろ自宅前で女用財布一個を拾つた

忘れもの

▲富士町四丁目十二番地中村氏方高木良之助氏は二十三日午後三時ごろ手提寫眞機（ケントグラス）を馬車上に置き忘れた

盜難屆

▲中央通五十番地大每社金弦武氏は二十三日午後四時ごろ新京驛前で自轉車一台を竊取された

▲尾上町六丁目八番地鄭廣復氏は二十三日午後七時ごろ家人不在中自宅內で多オーバ一着黑ラシャ裏毛皮付時價五十圓を竊取された

▲吉野町二丁目二十八番地峰長春堂所有自轉車一台を二十三日午後六時ごろ自宅前で竊取された

▲和泉町二丁目二十五號松村龍五氏二十一日午前十時ごろ家人不在中何者か侵入し茶色折襟三ッ揃一着茶色毛布三枚時價十五圓、茶色多オーバ・十六圓、を竊取さる

けふの銀相場

鈔票對金票　一三六、五四
現大洋對金票　一一〇、一〇
國幣對金票　一〇五、八〇
現大洋對鈔票　八〇、五四

春競馬第三日
雨天の爲延期
來る二十七日から四日間

新京春競馬第三日は昨夜來の雪のため馬場コンデション惡いため余儀なく中止第二次を一日繰りあげ二十七日から四日間に延期された

春競馬第二日　成績

▲一競馬　一六〇〇米
一着　高雄　二分四三秒
二着　羽衣一〇
三着　北州半
配當（複）一着　三圓三〇錢
二着　三圓七〇錢
三着　九圓六〇錢
（單）
搖彩票一等　五五圓五〇錢
二等　一五圓八〇錢
三等　七圓九〇錢
等外　二圓二〇錢

▲二競馬　一八〇〇米
一着　金邦　二分五一秒
二着　惠愛大
三着　比虎大
配當（複）一着　二圓一〇錢
二着　二圓八〇錢
三着　三圓〇〇錢
（單）　三圓〇〇錢
搖彩票一等　一二〇圓九〇錢
二等　三四圓五〇錢
三等　一七圓三〇錢
等外　六圓一〇錢

▲三競馬　一六〇〇米
一着　矢吹　二分四六秒
二着　久慈七
三着　轟三
配當（複）一着　二圓七〇錢
二着　三圓一〇錢
三着　二圓六〇錢
（單）　二圓二〇錢
搖彩票一等　二七一圓三〇錢
二等　五圓八〇錢

▲四競馬　一六〇〇米
一着　春駒　二分三八秒
二着　一力五
三着　王鬼三
配當（複）一着　二圓四〇錢
二着　二圓六〇錢
三着　五圓六〇錢
（單）　三圓三〇錢
搖彩票一等　二七三圓二〇錢
二等　七八圓〇〇錢
三等　三九圓〇〇錢
等外　一三圓九〇錢
搖彩票一等　九六圓三〇錢
二等　二七圓五〇錢
三等　一三圓七〇錢
等外　六圓八〇錢

▲五競馬　一八〇〇米
一着　天拜　三分四秒五分三
二着　南洲大
配當（複）一着　三圓三〇錢
二着　二圓九〇錢
（單）　七圓七〇錢
搖彩票一等　二一二圓四〇錢
二等　五三圓一〇錢
等外　一三圓二〇錢

▲六競馬　二〇〇〇米
一着　山比虎　三分二秒五分二
二着　公主嶺　五月大
配當（複）一着　二圓八〇錢
二着　四圓一〇錢
（單）　四圓二〇錢
搖彩票一等　二三八圓〇〇錢
二等　五九圓五〇錢
等外　二四圓八〇錢

▲七競馬　一八〇〇米
一着　春勇　三分四秒五分一
二着　天峰半
配當（複）一着　二圓九〇錢
二着　二圓四〇錢
（單）　五圓八〇錢
搖彩票一等　二七一圓三〇錢

▲八競馬　二〇〇〇米
一着　谷風　三分七秒五分一
二着　城山大
三着　韋駄天半
配當（複）一着　三圓〇〇錢
二着　三圓三〇錢
三着　五圓三〇錢
（單）　四圓四〇錢
搖彩票一等　五五二圓三〇錢
二等　一五七圓八〇錢
三等　七八圓九〇錢
等外　一九圓七〇錢
二等　六七圓八〇錢
等外　二一圓二〇錢

▲九競馬　一八〇〇米
一着　霞　二分五五秒
二着　矢風三
配當（複）一着　二圓三〇錢
二着　二圓八〇錢
（單）　三圓二〇錢
搖彩票一等　二四三圓二〇錢

▲十競馬　二〇〇〇米
一着　荷葉　三分二七秒
二等　六〇圓八〇錢
等外　二五圓三〇錢
（單）　二圓五〇錢
搖彩票一等　一五七圓四〇錢
等外　三九圓三〇錢

▲十一競馬　二〇〇〇米
一着　新高　三分三秒五分三
二着　蓬萊大
配當（複）一着　二圓四〇錢
二着　三圓六〇錢
（單）
搖彩票一等　一六三圓八〇錢
二等　四〇圓九〇錢
等外　一七圓一〇錢
搖彩票一等　一七圓七〇錢
二等　二九圓四〇錢
等外　一二圓二〇錢

▲十二競馬　二二〇〇米
一着　比久　三分二三秒
二着　安東光大
配當（複）一着　一圓九〇錢
二着　二圓一〇錢

▲十三競馬　一六〇〇米
一着　稻穂　二分四六秒
二着　第二日丸　一〇馬身
三着　白龍
配當（復）一着　一圓九〇錢
二着　二圓四〇錢
三着　七圓三〇錢
（單）　二圓二〇錢
搖彩票一等　一四七圓八〇錢
二等　四二圓二〇錢
三等　二一圓一〇錢
等外　五圓二〇錢

▲十四競馬　一六〇〇米
一着　第二八幡　二分三秒
（單）　一〇圓二〇錢
搖彩票一等　三九圓二〇錢
等外　三圓二〇錢

居留民會評議委員
昨日選擧終る
最高當選は山野喜佐吉氏

新京居留民會評議委員民選投票は二十二日午後三時で締切つたがその結果當選者、次點投票總數は次の通り發表された

當選十六票　山野喜佐吉（新）
同　十票　尾崎　靜馬（前）
同　七票　笹沼　四郎（前）
同　七票　井下　郁也（新）
同　七票　松田彌三郎（前）
同　六票　橋本　與作（前）
同　五票　古谷　一（前）
同　四票　中村七之助（新）
次點　三票　田中　善平
同　三票　大西多吉
（以下略す）

總投票數七十六票、有權者二百四十名に對する三割に對する三割一分六厘で民選第一回としては先づ好成績といはれてゐる、官選の七名は一兩日中に領事館で發表される豫定

富貴人形會作の
人形展覽會

來る二十七日から三日間市內吉野町角柳屋で北山品子女史指導で着附け振つけまで相當こつた作品の市松人形其他數種を出品し展覽に供する北山女史の主宰する富貴人形會の會員は荒木、藤山、吉田、赤川高木、芳賀、橫瀨、都留、鈴木、窪田、長野、磯部、高橋、千葉、原田、その他多くの知名士の孃さん達が加入して居る、因に北山女史は千鳥町に居住

注目の的（七）
―大新京の景氣打診―

昭和七年五月僅か三軒の料亭
今じや三十九軒藝酌婦三百人
懷は苦しいばかり

城內料理店組合長　新富主人　井下郁也

昭和七年三月新京が國都と決定すると間もなくこの城內に開業いたしました、當時の業者は二軒で、私が三軒目に開業したのでありますが、藝酌婦の數も三十五人あまりで、それが今日においては同業者三十九軒藝酌婦三百人（日本人のみ）附屬地と合すれば千百人の莫大なる數となるのでありますこの

藝酌婦の數は新京日本人々口約三萬五千人に對するもので、これを大連と比較して見る時この新京にこれ等娘子群がいかに多いかが一層明瞭となるのでありますし即ち大連においては人口十五萬人に對し藝酌婦千百人でありまして新京人口數は大連の四分の一であるのに藝酌婦數は同一の數を示すもので、これをもつてするならば新京においては人口の割合に藝酌婦約四倍の過剩をなしている結果となるのでありますゝしかし營業成績においては大連の賣上げよりも二倍の賣上げをなしているの好況にあるのでありまして、結論において新京には花柳の巷に入る人が非常に多いといふ事になるのでありますその原因は、內地において花柳界に入ることは社會的に一面不信用とされているのに新京人はその反對で堅氣の人でも花柳界に足を踏み入れることをはじとしない風習がありさらにこの土地の

在來の人達の內情を見た時、成功した人達も裸一貫で飛び出し變則的な靑年時代を過して普通の婦人を妻として迎へなかつたために花柳界と深い關係が出來たとともに、かゝる習慣が惰性として今日にまでおよんでいる關係にあらうと思ひますまたこの賣上の內には土地の人々以外視察者が半分と見ていゝのであります、この視察者は旅舘に泊らず料理屋に過すがためでありますの上の結果よりすれば料理屋業者はホクホクであるべきでありますが、その內情においては可なり苦しい經營にあるのでありまして、それは要するところ物價の高騰であるがためであります、例へば大連でマグロ二十錢、白菜三錢が新京においてはマグロ八十錢から一圓、白菜十錢といふ具合でこれに準じてすべての物價が高いのであります、さらに現在の統計の示すところによれば人口增加率よりも藝酌婦の增加率が

非常に多くその賣上げにおいては漸次減收の傾向をたどつているのであります、滿洲人の如きは人口藝酌婦賣上が正比例しているのに日本人は反比例にあるもので、眞に儲けている人々は僅か一部分に過ぎない狀態でありましてその起因するところは日本人の欠點である共喰ひにあるものでまことに愁ふべき事態であります吾々業者としては向ふ三年間は現在のまゝ制限されることを要求するものでありまして、またそれが日本人業者のためにも得策であろうと思ひます、現在は以上の如くまことに不自然な現象にあるものでありますが、これも漸次自然に復し日ならずして常態にかへるものと思ひますしかし吾々城內居留民の最も痛恨に堪えぬ事は

行政管轄の相違するがため附屬地と利害に非常な差があることであります、例へば電灯料金において附屬地一粁八錢が城內においては一粁二十五錢水道料は五分高、公費は一割高、以上の如く生活必需品においてかくの如き狀態でありますが、なほ小さい例をとれば吾々が附屬地より城內へ酒一丁を入れるときそれを滿人に持參させた場合には五十錢の稅捐（消費稅の如きもの）を拂はせられるのでありますこれなど吾々の解し得ざる處置であります、電灯料の如きに至つては市政公署は滿電より一粁六厘で買ひ、一般市民に對してはもちろん吾々の關知するところではありませんが（城內）には廿五錢で賣るのでありまして、この間の利益に對しては實に苦痛とするところであります、かくの如き情弊は附屬地とその差の余りに甚だしいことに對しては日系人として實に苦痛とするところであります

舊軍閥時代の政策と何等異なるところなく建國の精神である王道政治か奈邊に存するものであるかを疑ふものであります吾々全居留民はこの不公平また情弊の一日も速かに廢除されることを希望し眞に王道の惠みに浴したいと念願しているものであります

新站驛發の
列車脫線

（ハルビン國通）二十一日午後一時五分頃拉賓線安家驛北方ポイント附近に於て新站發五常行第一〇四號列車は脫線した、之がため若山部隊の〇〇列車は第一、第二、第三とも水曲柳に待機したが該個所は午前七時復舊同列車は水曲柳發〇〇に向つた、尙同列車の乘客には異常なかつた

青函連絡船に
自殺監視人

（東京國通）青森函館間連絡船は投身自殺の多い事で三原山以上に有名であるが鐵道省では今回連絡船に晝夜ブッ通しの監視人を置く事になつた

開原の僞造紙幣犯人
見事に逮捕

（大連國通）既報開原に於ける僞造紙幣行使犯人主魁王桂山逮捕以來手配により小崗子署では各省と連絡し當司法主任以下齋藤、田切、小山、庄司氏等司法總動員で一味の檢擧に努めた結果小崗子署十一名、錦州、子　兩署各一名計十三名が二十一日夜迄に逮捕され其他綿入れズボン及び二重行李に隱匿せる僞造紙幣中國銀行、交通銀行紙幣十圓券七十七枚、五圓券百七十枚外證據物件を押收した、僞造紙幣は南支方面物らしく極めて精巧で一見眞僞の區別がつかぬ程であるが滿洲に於て行使せるは開原二十圓、小崗子十圓で未然に防がれた、主魁王桂山は河北省寧靜縣生れ住所不定の僞造前科一犯のしたゝかもので背後に黑幕の有無その他目下取調中である

女子陸上豫選も
好成績

（美吉野國通）日本女子スポーツ聯盟主催第四回國際女子オリンピック大會派遣女子陸上選手選拔第三次豫選會は廿二日午前十一時から大和美吉野の運動場に於て擧行された

が雨上りのグラウンドはコンデイション良好とまでは行かなかつたが參加七十二名の盛會で槍投げで山本孃四十米六十四を出して眞保孃の日本記錄を破つた外砲丸投では石津孃は十米七十一、八百米では糸田孃が二分三十一秒三で夫々日本新記錄を出した

立教勝つ
對帝大一回戰

（東京國通）六大學野球の第一戰帝大對立教の試合は二十二日午後二時から帝大先攻で開始され帝大は五回に一點を得たのみでこれに對し立教は一回三點、二回二點六、七回各一點を奪ひ結局七A對一で立教の勝利となつた、閉戰三時四十分、バッテリー立教鹽田、別井、帝大篠原、古南

三井大勝
對大信野球

18A―2

二十二日公學校々庭において三井物産對大信洋行の軟式野球試合を行つたバッテリーは三井側岸本、加藤、大信側竹歳塚野午後二時球審岸本氏のプレーボールに試合開始ファインプレー珍プレーの續出に參觀人は幾度か破顏爆笑一八A對二のスコアーで三井物產大勝午後三時に和やかな試合を終つた得意滿面の三井軍は『どこの軍でも申込みにより直ちに應戰します』と氣焔萬丈あたるべからず意氣揚々として引き上げた

花の師匠としての傍らこの人形會を指導して居る、又當日は會場で靑年會員作の造花も賣る筈

記事訂正

二十三日夕刊邪慾の局員に說論願と題する記事中新京郵便局集配人とあるは中央電報局の電報配達夫の誤りにつき訂正

天氣　南西の風曇
氣溫　最高八度　最低零下〇度一
日出　前四時四十三分
日入　後六時三十三分
月出　前五時五十三分
月入
滿潮　前
干潮　後
前二時〇七分

冬から春へ……
氣候轉換期に
どんな注意が必要か（七）

冬から春へ―煤煙から塵埃への非衞生的な氣候轉換期に當る昨今衞生上特に注意をせねばならぬ時期であるが、その豫防方法並にことに注意を必要とする事柄についての衞生上の問題に各專門醫は語る

春と皮膚病（三）
滿洲に特に多い寄生性疾患

滿鐵新京醫院皮膚科醫長　吉村寧儀

次は豫防並に治療の問題であるが百の治療は一の豫防に劣ると云はるゝ通りで先づ病に罹らぬ樣に努める事が緊要であるそれにはこの病の原因も感染經過も明らかであるからそれに付いて注意するがよい

×

即ち第一には皮膚を清潔にする素垢を貯めない樣に入浴を怠らず殊に股液部をよく洗ふ事

×

第二には肌に着く物は時々洗濯をして綺麗に保つこと、然しこゝに氣を付けねばならぬ事はよく洗濯しても十二分に乾かさねばならぬ事である、これは黴は非常に溫氣を好むからであるこのよい例としては「おむつ」の干し方が不充分なため或は「おむつ」が汚れても永らくその儘に放置する爲め、知らぬ間に「おむつ」で包まれる部分が寄生性の皮膚病となつて居る事がある

×

尙第三には皮膚に黴の如く滋養物を留めない事も必要である、この例として乳兒の頰等は絶えず乳や「よだれ」で濕るから容易に黴の發生を促しいつか中々癒らないこの種の病氣となつてくる

×

第四は通風をよくし蒸さね事幼兒殊にシン出性體質を有する者などではこの點をよく氣を付けて皮膚を常に乾いた狀態に置かねばならんこれには厚着を避けるとか或は皮膚には汗知らず等を時々撒布して黴の發生を防ぐ樣に努む可きである

×

以上は予防の根本であるが特に不衞生にした譯でなくとも大ていの人は身體の何處にか何かの型の寄生性皮膚病を持つてゐる、これは寧ろ病原菌の頑固な爲めと更にその存在が余りに廣く多く過ぎる爲めからと思はれる

×

然らば一度この病氣に罹つたら如何にす可きかと云ふにこれは皮膚病の型が色々であるから、例へ病源菌は同一でも一樣には行かない

×

治療の根本としては皮膚內の菌を全部殺してしまへば良いのであるが皮膚に醜形を殘すことなしに菌のみ殺す事は仲々容易でない、反つて菌を殺す目的で強い藥を用ひる結果菌を皮膚の奧に迄追い込み病を惡くする方が多い、尤も極く初期で皮膚の表層を僅に侵して居る「ハタケ」の類では割合容易である、然しそれでも黴の性質としてその根は仲々絶えない

×

然し好都合な事は皮膚は絶えず生理に下から作り上げられ古い表面は水分を失つて死んでゆく、この時黴の菌も同樣に上の方は死滅し根も次第に淺くなつてくるそれである年月間、その儘にして置いても早晚自然に寄生性疾患は治癒してくる、これは殊に通風のよい頭部顏面によく見られるこの年限は予定出來ないが、かなりの期間がいる

×

所がこの皮膚病は顏頭等では體裁が惡い、或は氣候の變り目などには自然に痒くなる、又平常でも衣類で包まれてをる部分とか首筋の如き絶えず摩擦される所、及至は股間部の樣な溫まり勝ちな所では時々絶えず劇しい痒味を生ずる從つて色々な素人治療が試みられる、酒精カンフルチンキ、アルボース石鹼、沃度丁幾、オキシフール、メンソレータム或はホウ酸水リゾール水の濫用等が日頃よく患者から聞かされる

×

然もこれ等は何れも結果に於て皮膚を刺戟して充血を增し從つて菌の發育を促し皮膚病を擴げたり「タダラセ」たり化膿させたりカサ蓋を付けさしたりなどして一層惡くするのが普通である殊に皮膚の弱い小兒ではその害が甚だしい

文藝

夢詩
船津生

明日と知れない空模樣
晴れたり　曇つたり……。
やがて逝く春に心躍らせし昨日のすぎこしよその頃空は晴れ僕の心も囃やいでゐたが……
くる日每に老ひて行末の不安に晴れたり
曇つたり……。

×

今日は久方振に珍らしい四月雨だが……
心やすく受けられる氣安さにすぎこしの
たのしき日ども憶出す……それでも明日と知れない空模樣

×

曇つたり、晴れたり、そして今後に桿さす
生の浮船に狂はない空模樣であつてくれ
そしたら僕の世渡りに平和な船師の氣安さがあると言ふものだそれでも明日も知れない
空模樣

×

晴れたり、曇つたり
まこと勝手な氣構へに
一事を最後まで成し得ぬ弱さなれば
くりかへしての生活に、はたと望みも
絶たれたり

×

晴れたり、曇つたり
昨日も今日も悔いて泣き晴れぬみちなれば
夢にてもみん
廻りくる時に誓つてたつた努力の影を

……四月一九日…

海の外から

底知れぬ　氷層の深さを測る

既報、ウエーゲナー博士を首班とする探險隊が萬古の氷雪に包まれるグリーンランドの探險に旅立つたがグリーンランドは陸塊であつてその上に氷の山が聳立してゐるのであるのか或は又底知れぬ氷山そのものが水に浮んで延々相連つてゐるのであるか今以てその眞相が判明してゐない所でウエーゲナー博士の一行はエコーサウンヂングの方法によつて氷層の厚さを測定する案が發表された、先づ氷上の一點に地震計を据えつけ一定の距離に爆藥を裝置し爆發させ生じた音波の氷面を傳はつたものは先づ地震引に到着下方に向ひ氷層の奧深く進んだものは地表面に衝突し一定の角度で反射して又表層に戾つて來る地震計はかくて反射し來つた音波を正確に記錄し速度を算定して、氷層の深さを知るのである

新刊紹介

新刊紹介　婦人俱樂部　五月號

▲別册附錄三册六十五錢、五錢と刻んだところに却つて眞面目さが窺はれる

▲附錄の一「皇太子殿下御降誕記念皇室御寫眞帖」これは實に堂々としてゐて氣持がよい此種のものは、出來が惡いと誠に畏く、非常に不愉快なものだが、流石は婦人俱樂部だ、愼重を極めた製作の態度は見上げたものである

▲第二の「夏の新型子供服婦人服」は家庭着外出着の兩方に亘つてゐるが、颯爽たる新型の大展觀、快よい夏がこゝではもうフンダンに香氣を放つてゐる、第三はおなじみの「凸凹黑兵衛」お子樣お待兼の一册

▲人氣を呼ぶには、以上の三附錄でも充分だ、が本誌はまた特別號らしい豪華さでますます前進の一點張りだ

▲「よいお嫁さんになる娘の座談會」にそのよい娘さん達の間に交つて、菊地寛氏の顏が見えるなど、凡そ朗かなもの

▲「京美人が美容の秘訣を打明ける會」「蜂蜜で見違へる程垢拔けのした體驗」「頑固な皮膚病を根治した家庭藥八種の作り方公開」と美容記事が氣の利いた所を見せれば

▲家庭記事、實用、お料理方面では「早く上手に出來る洗濯法の秘訣座談會」「月收四、五十圓俸給生活者の模範家計」「お魚の頭と骨の美しい食べ方」「節の本場、京都名代料亭の節料理いろいろ」と賑やかな名記事晉頭で來る

▲中間物にもこれはと思ふもの一二に止まらず、評判になつてゐる花形物語も市川春代が出て、このところ頁々に百花一時に咲く盛觀だ

ラヂオ

二十四日（火曜日）新京

午前一一時四〇分　ニュース（日滿兩語）
同　一一時五九分　時報
午後〇時　五分　經濟市況
同　一時　〇分　演藝（滿語）（奉天より日滿兩語）
同　三時二〇分　ニュース（日滿兩語）
同　三時三〇分　經濟市況（奉天より日滿兩語）
同　四時三〇分　ニュース（滿語）
同　四時四〇分　ニュース
同　四時五〇分　ニュース（鮮語）
同　五時　〇分　子供の時間（英語）童話　中村丘
同　五時三〇分　時事解說（滿語）
同　五時五五分　氣象豫報プログラム豫告（滿語）
同　六時　〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　語學講座（滿語）講師　高宮盛逸
同　六時四〇分　語學講座（日語）講師　植松金枝
同　七時　〇分　謠曲（東京より）＝東京水道橋寶生會能樂堂より中繼＝小袖曾我　十郎　野口兼資　五郎　寶生重英　母　佐野巖　トモ　寶生英雄
同　七時四五分　歌劇
同　八時三〇分　時報ニュース（東京より）
同　八時四五分　ニュース氣象豫報プログラム豫告（滿語）
同　九時　〇分　演藝（滿語）大觀櫻　小平　引續ニュース（滿語）

愈よ設立に決定の 滿洲採金會社
國有鑛區の統制開發に當る

昨夏特務部、滿鐵の共同事業として七虎力河、佳木斯、黑河方面に派遣せられた、産金調査隊の半歳に亘る活動の結果含有量八〇パーセントと言ふ砂金層を發見し企業の可能性も充分確認されたので採金會社設立計畫は急速に具体化し着々準備を進めて居たが、今回鑛業法の發布に先立ち同會社設立の基礎法たる滿洲採金會社法も本二十三日の國務會議に付議參議府の諮詢を經て公布されることとなり、近く創立總會を擧げた上愈々國有鑛區の統制開發に當る事となつた、而して同會社內容は次の如くであるが本會社創立の曉は當分金の積極的買收に當る筈でこれにより滿洲國の金買上、輸出禁止等一聯の金政策は一段と强化されることとなり又滿洲は同會社の活動により素晴らしいゴールド、ラッシュ時代を迎へることとならう

一、滿洲に於ける砂金及ひ金鑛の統制的開發をなすため日滿合同による滿洲採金會社を設立す
一、會社は滿洲國法人の特殊會社とし政府これを監督す
一、會社設立當初の資本金は國幣一千二百萬圓(四分の一拂込)としてその出資者を滿洲國政府(現金出資を含む)滿鐵五、東拓三の割合とし將來增資する場合は公募による

アメリカで 銀復位問題協議

(ワシントン二十一日發國通)二十一日大統領及びモーゲンソウ財政長官は上院の銀復位論者を招致して目下問題となりつつある銀本位案を中心に意見の交換を行つた、右會合を了へた大統領秘書アーリー氏は協議の經過を左の如く發表した

本日の協議では金及び銀問題を含む世界通貨問題の全般に亘る種々の問題が議せられた今後更に同樣の協議會が催されるであらう

一方當日の會合に出席した上院議員ハリソン氏は語る

本日の協議會に現はれた大統領以下政府側の態度は銀復位の主張に對し極めて同情的なものがあつた、我々は若し必要の時は銀復位の問題に關し法律を制定するに至るであらう又その際政府と相携へて滿足すべき法案を作成し得る點も考へる

尚上院銀論者側は二十三日再び會合を催す筈である

對蘭印貿易 業者大會

(大阪國通)日蘭會商の對策を目的とする阪神對蘭印貿易關係大會は二十一日大阪商工會議所に開催、今後の對策協議に入つたが大体次の如き對策を滿場一致で決定關係各省に建議することとなつた

一、最近の片貿易の狀勢を調整するため蘭印の主要物産たる砂糖その他の諸品をなるべく多く購買すること
一、綿布、ビール、セメント雜貨等の業者に於いて各自强固なる組合を組織し蘭領印度に對する輸出統制を圖ると共に今後の交渉に際し善處するため當業者が結束をなすこと

石炭液化 研究の爲 栗原所長德山へ

(大連國通)滿鐵中央試驗所所長栗原鑑司氏は德山海軍燃料廠と共同研究中の石炭液化に關する打合せを行ふため約三週間の豫定で二十一日扶桑丸で出發した

米下院 三億二千六百萬弗海軍豫算可決

(ワシントン廿一日發國通)米國下院は廿一日三億二千六百萬弗の海軍歳出豫算案を可決した、右豫算案中には競翔用飛行機のための百萬弗が含まれて居る

滿洲商工會議所令 實施に一頓挫
奉天商議の反對に聯合會狼狽

(大連國通)關東州並に附屬地に商工會議所令が實施されることになつて居たことは既報の如くであつた、而るに去る十八日歸連の日下內務局長が言明して居る如く今回當事者の反對によつて一時頓挫の形となつた、反對者は奉天商工會議所と觀られて居る、折角全滿商工會議所聯合會決議により當局に陳情し漸くその實施を見る段取りとなつて居た該法が曾て贊成者であり而も當事者である一會議所の横槍に依つてもろくも挫折の運命に陷つたと言ふことは遺憾であり、奇怪な行動とされて居る、この事實に當面した全滿商工會議所は極度に狼狽して居り善後措置に狂奔して居り近く緊急役員會を開きその對策を講ずると共に迷惑をかけた日下內務局長に對しても陳謝の方法をとるものと觀られて居る

インフレは 滿洲國に適合せず
通貨の安定が絕對に必要 山成中銀副總裁談(一)

最近インフレ論が頻々として起り通貨の安定に至大の關心を有つてゐる滿洲國人間に種々危惧の念を與へてゐるが、開業以來一意通貨の安定に努力を傾注し來つた中央銀行では斯の如き紛々たる議論には何等介意するところなきは勿論である

一、滿洲國民にとつては通貨の安定が絕對に必要なること
一、インフレ政策は農産輸出國たる滿洲には適合し得ないこと

といふ二點より見て採用し得ない事に關し中銀山成副總裁は左の如く語つた

國幣の相場が兩三日多少下向になつてゐるが是は滿洲中央銀行としては何等理由のないことであつて何か市場に最近インフレの聲があり、延いて平價の切下げといふことになりはしないかといふ聲が起つて來て、それが原因してゐるものと思はれる、然しこれは何等根據のないことで全くデマとも言はねばならないのである、それは若し傳へられる如く大にインフレーションを行ふことであるならば或は通貨の下落といふ結果を來すかも知れないが、インフレ政策は簡單に之を用ふべきでなく又之を用ふる方針を有つてゐないのである元來インフレーションは國家非常時に於て已むを得ずに行はれるものであつて過般の歐洲大戰爭に際し關係各國が大インフレを行つた結果、ドイツ、フランス、イタリー、ロシア等最も關係の深かつた國が先づインフレの影響を蒙つて通貨が或は無價値となり或は大暴落を來した、たゞ英米日の諸國は比較的インフレも甚しきに至らずその反動に堪え得て一時は平價切下げに依らずして金本位に恢復した有樣であつた、然し乍ら遂に英國の金本位離脫からこの三國も亦皆つひに金本位を離脫して通貨の暴落を來すに至つたのである、即ち之等各國はいづれも戰時中の大インフレーションに據る世界的大好景氣から其の整理時代の反動的大不景氣に遭遇し之を救濟する爲めに再ひインフレ政策に轉し通貨の下落によつて物價水準を引上げての難局を打開せんとしてゐるのである、これは恰も宿醉の苦痛を脫するために向へ酒に依つてこれを慰すると同樣であつて之によつて常態に復さしめんとする手段に外ならない而してインフレーションの方法は各國國情に應じてその程度方法は異るが何れも政府の政策によつてゐるのであつて日本に於ては政府は一昨年以來毎年約十億圓程度の公債(米穀證券を含む)を發行し中央銀行たる日本銀行をしてこれを引受けしめて各種の事業を興し其沈衰せる商工業と多數の失業者を動かしてゐるその結果諸事業及失業者は餘程救濟され、今や商工業方面は非常な活況を呈するに至つた

日滿經濟ブロック 結成基礎資料(三)
鑛產資源について(上)

資源價値

資源要項(滿洲產業統計による)

全埋藏量　十二億二千二百　萬噸(推定)

	富鑛	貧鑛
鞍山五鑛區	百三十萬キロ	(櫻桃園)四億五千六百萬キロ
廟兒溝(本溪)	三百萬キロ	二億二千七百萬キロ
弓張嶺(遼河)	三百萬キロ	三億七千七百萬キロ
其他		約一億五千五百萬キロ

現在採掘額　九十二萬三千キロ(昭和六年)

滿洲よりの鐵鑛供給高　三百六十萬キロ　我需用の約二十二%

鞍山製鐵所銑鐵生產能力　三十四萬キロ

本溪湖銑鐵生產能力　十萬二千キロ

銑鐵生產高(六年)　鞍山二十七萬七千キロ　本溪湖　六萬六千キロ

日本の銑鐵需用高平均　百七十萬キロ

日本の鐵鑛需用高

本資源の利點及缺點

利用スベキ諸點

一、原料鑛石豐富なるのみならず石炭及製鐵用各種材料豐富なり
二、還元焙燒法により燒結したる鑛石は熔鑛爐に入れて製鐵の際熔解速くコークスの節約大なり
三、貧鑛より五〇%乃至五六%の精鑛一噸を燒結するに要する費用は鑛石運搬費其の他の諸費用を加算するも約四圓にして米獨に於ける原鑛費に比し決して割高ならず
四、鞍山銑鐵は良質にして有害元素を含むこと少く特に有害なる銅を含まざることに於て日本中他に比類なし

留意スベキ諸點

一、滿洲の鐵鑛は含鐵分低く三四十%にして且多量の硅酸を含むを以て精煉上多大の技術と費用を要す
二、比較的鐵分多き鑛床稀なるのみならず不規則なる鑛脈をなせるため其の採掘困難なり
三、還元焙燒による人工鑛石のコスト四圓といふは三五%の貧鑛五〇%乃至六〇%の富鑛を併用せるコストにて其の富鑛は兩三年にして掘盡さるゝを以て其の後には人工鑛石の單價を高からしむる不利あり(約六圓位の見込)
四、熔鑛爐の位置炭鑛に遠きため石炭輸送に多大の費用を要す(銑鐵一キロ當り生產費中二六%—四〇%は石炭費に費せり)

我國策上より見たる利點及缺點

利用スベキ諸點

一、內地製鐵所の原鑛は殆んど其の供給を海外に仰ぐ現狀なれば滿洲國の鐵鑛乃至銑鐵は一朝有事の際最も重要なる資源なり
二、滿洲に於て貧鑛ながら埋藏量莫大なる鐵鑛と良質なる骸炭用炭、石灰石、耐火材料等製鐵上の必須材料を豐富に得らることは我國の製鐵事業確立上非常に有利なり
三、鐵鋼業は國防と密接なる關係あるのみならず聯繫的にコールタールを基礎とする各種工業、骸炭を原料とする水素製造業及アンモニア工業、石炭液化工業、合成液體燃料工業等を助成誘起するを以て滿洲に於ける本工業の確立は其の資源開發上の先驅として重要なり
四、原料、材料、製品の輸送は總て同一會社の經營にあるを以て一般經濟界の變動により生產費に影響を受くること少し

留意スベキ諸點

一、我國の製鋼工業は漸く自給自足の域に達したるも這は一に國家の保護政策と地理的關係によるものにして保護を撤廢すれば外國品との競爭困難なり
二　昭和製鋼所の銑鋼一貫作業の完成は內地製鋼業を壓迫することゝもなるべし

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片一六分一
同 先限	一九片四分三
紐育銀塊	四五仙〇〇
孟買銀塊	五四留比一六分七
米英爲替	五弗一六仙四分一
米日爲替	三〇弗五〇仙
米支爲替	三四弗七五仙
スチール株	五三弗三分一
アナゴンダ株	一六弗四分三

▲印棉　(現物、五月限、七月限、十月限、十二月限、一月限、三月限)　[illegible]

▲上海標金　[illegible]

▲上海日本向　第一回へ　第二回へ　[illegible]

▲上海倫敦向　一志三片八分七　[illegible]

各地市場

▲上海紐育向　▲大連金鈔票　▲阪神日米爲替　▲大阪株式　▲同短期　▲大連株式　▲大阪三品　▲大阪棉花　▲大阪期米　▲仁川期米　▲橫濱生糸　▲神戸豆粕　▲大連特產　[illegible]

新京市況

特產現物　出來高　大豆　四車　高粱　二車　[illegible]

鈔票對金票　現大洋對金票　國幣對金票　現大洋對鈔票　[illegible]

新版江戸八景(上映禁止)
行友李風作　鏡鐵平他二氏畫

江戸役者と御殿女中　二七　行友李風

晩飯もおなしやうに、擬りめしをこしらへて、大吉のもとにさしいれてやります。

さて、それから、二タ刻もずると、——局の夜は早い。一同、それ〴〵の部屋にひきとり寢についてしまひました。

——まだかく。

と、はやる心を、

——いま少し……いま少し。

と、押へてをりました菊路。

——時分はよし。

と思ふと、がばとはねおき——

おし入れの戸をあけた。

『大吉。——』

『はい。——』

『さぞ、窮くつなことであつたらう。——さ、もう、心配はない早う、出ておぢやれ——』

『……』

大吉が立ちいでる手をとつて、——菊路は、もゆる思ひをあつい息にあらはして、引きよせました

それからは、誰はばからぬ閨房。

……の秋に、狂理のちぎりをかさね、明の早い春の夜の短さを怨み、とりをかこち、纏綿の情緒いやが上にもこまやか。——

△　△

かうして、朝になると、大吉は再び、おし入れのなかへ逆もどり、菊路は菊路で病人にかへる。

一日、二日、三日と、逗留して、莫大な命子を賜き、大吉が、再び、もとの如く、なかもちのなかへ忍んで、……もとの如く。

『薬なはしあつらへ物』

といふ札をかけて、納戸へさげられ、そこから、伊豆蔵の人足の手にかつがれて、本町二丁目の伊豆蔵かたに歸つて來たのは四日目のことでありました。

與兵衛夫婦もそつと安堵の胸をなでおろして、

『この分なら露顕の心配はない—。案じたより生むが易いとはこのことだ。——』

と、たかをくくるから、度胸が座ります。

一方、菊路も、なまじひに、嬉しいあふ瀬に、一そうの思慕の情がつのつて、三日にあげず、

『お万、——どうぞ、大吉を上らせてたも。——』

とたのむ。

お万も、あふ度に、金がもらへるところから、

『宜しうございます——』

と、ひそかに伊豆蔵に通ずる。

伊豆蔵から、大吉によびだしをかけると、——大吉とても、惡い氣がしない。

かうして、大吉は、舞臺の勤めも上の空。

三日にあげずに逢ふうちに、逗留の日數も、三日が五日になり、五日が七日となるといふのであります。

『では、この度は、今宵かぎりで……』

と、臥床につくものの、さて、翌朝となつてみれば、假しともない觸語の心中。

『大吉、——すまぬが、もう一ト夜……』

といはれてみれば、大吉も、それを退ける氣にはなれない。

かうして、たのしい逢瀬は、いつまでもつゞくこととおもはれたが、——たとへにも云ふ、惡事は千里を走る。……

これほど一同が、腹をあはせて秘隠くたくらんだ一件も、妙なことから、露顕のいとぐちがほぐれやうとは、神ならぬ身の知る由もありませんでした。

◆……◆……◆……

四月廿四日　火曜　乙丑　先勝　收　○宿　舊三月十一日

- 一白の人　戰陣に臨んで威令衆卒に及び勝利を得る日　甲と乾と亥が吉
- 二黑の人　事業に可否なく平凡に終る日病盜怪我注意　申と丑と寅が吉
- 三碧の人　無謀の企てをせず窮乏にも無理せぬが安全　乙と丙と丁が吉
- 四綠の人　氣運衰退すれども悲觀を止めて定業を勵め　甲と乙と丙が吉
- 五黃の人　失策を挽回せんと焦れば更に失策を繰返す　丙と申と艮が吉
- 六白の人　眞面目なれば氣運も良好に伸長するを見る　庚と辛と壬が吉
- 七赤の人　軌道を走る車も障害物の爲めに脫線す注意　艮と癸と寅が吉
- 八白の人　調子づかざれば計畫も徐々に伸展すべき日　庚と辛と寅が吉
- 九紫の人　盛運なれども勢に任せば成る事も挫折あり　巽と丙と申が吉

新京日日新聞
朝刊
四月廿四日(火)
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

內蒙三千里 秘境を探ぐる(二)

牧歌は消され桃源の夢は破る 蒙民に更生の黎明

旗長には蒙古の封建領主であつた王が 新しい政治組織によつて任命せられてゐるので鄭家屯ホテルに集つた旗長も二十三歲の靑年旗長から六十余歲の老旗長もあつて能力も物の考へ方も決して一樣でないらしい通譯をした興安南分省警察局長甘球爾札布氏は、例の川島芳子氏の元の夫君瀟洒たる貴公子である。旗長は何れも大の酒豪で日本料理を突付きながら

乾杯々々

と盛に日本酒の盃を擧げてゐる、鄭家屯に近い溫都爾王府は民衆窮乏のうちに最近竣成した北京風の大建築でおそらく蒙古隨一の大王府であらう見物に行つた一行は歸途名物の嵐に襲はれ一寸先きも見分かぬ蒙塵に度膽を拔かれた鄭家屯から通遼までの打通線沿線は、西から東に向つて動いてゐるといふ歐里驛附近の低い沙丘の一流れと小さい驛が幾つかあるだけで車窓から眼に映る限り殆んど樹木も耕地も無い茫洋たる大平野である、地平の彼方に、大艦隊が進んでゐるやうに黑煙が高く渦卷いてゐるのは、この大平野の枯草を縱橫無盡に燒いてゆく壯快極まる野火の煙であらう、黑々と續く燒跡には處まだらに雪が殘つてキジが二羽三羽餌を漁つてゐるのが見えるこの大平野に若草が萌へ出ると家畜の大群を追ふ蒙童の牧歌が奏でられるのであるが倉重博士のお話では、この大平野は興安省の肥沃地帶であつて植林事業を起して水源を涵養すれば土壤も變化して立派な耕地になるのださうである、鄭家屯驛から約二時間で達する錢家站附近は奉天政權華やかなりし頃この沃土に目を着けた張學良が蒙古人の土地を收拳して大規模の牧場を設けた處で牧場警備の兵營が今では興安南分省警備司令部になつて巴特瑪拉佈坦少將栗野參謀長、金川顧問以下約五百の蒙古將兵が駐屯して居る、そして此處には滿洲國唯一の少年隊があるので一行は驛から兵營までの約五滿里を蒙古馬に乘つて參觀に行つた

高原に悍馬を操る蒙古少年

滿洲國では興安省の國軍は蒙古人のみを以て編成してゐるので錢家站の少年隊も十五歲から二十歲までの蒙古少年のみである、昨年四月に開設し現在の隊員は百二十名であるが軍事教練と日蒙語及び數學等を併せて教授する一種の國民教育機關で少年隊の出身者は將來の蒙古軍の中堅たるべく大に囑望せられてゐるのである元來蒙古人は氣性も容貌も頗る日本人に似てゐるが少年隊の小兵士達も日本の少年と全く見分けの付かぬ勇ましくも可憐な顏を輝かして左向け、右向け、折敷け等の日本語の號令で活潑な動作を見せ教室ではコレハホンデスカ等と熱心に日本語を勉強してゐる、又蒙古の少年は火のやうな競爭意識に燃えてゐるので隊では毎月競馬や角力の大會を催し士氣を鼓舞し尙武心を練つてゐる軍事教練や學課の參觀が終ると少年兵の競馬が始まつた腹帶もせぬ裸馬の背に登るやうにして跨つた少年達は凍てた大地に砂塵を擧げて疾風の如く走つてゐる流石に馬を下駄替りにしてゐる、蒙古人だけあつて少年ながらその技術は巧みなものである、軍人出身の依田次長はすつかり悅んで競馬に副賞を與へ優秀な少年は選拔して日本に留學せしめたいと語つた、錢家站には近く蒙古軍官學校も開設せられる筈であるから今後幾多の優秀なる蒙古軍人がこの大平原の兵營から輩出するであらう、一弱小民族から身を起して高原に悍馬を馳り、遂に極東の天下に大を爲した蒙古の雄傑鐵木眞の血が今や日本流の軍律と訓練の下に蒙古靑少年の体內に脈動を始めようとしてゐるのである夕陽紅くこの蒙古軍の搖籃を染める頃小鐵木眞に誇りあれと祈つて兵營を辭した一行は再び馬で驛に向つたが記者等の危つかしい腰付きは何としても少年達には恥しかつた、通遼は近年まで白音太來と稱して達爾ハン旗に屬してゐた地であるが、西遼河の沿岸に位して土地肥沃であるため漢民族が土地を收奪して農耕を始め遂に縣城を築いて蒙人搾取の根據地とした關係から今尙奉天省の管轄に屬し、通遼縣として興安省の離島を形成してゐるが近く興安省に編入せらるる筈である、打通線の頂點で商業頗る盛んである、在住の日本人は駐屯軍を除いて約二百五十名、滿鐵社員、滿洲國官吏の外は雜貨藥種商、料理店、カフエー等を營んでゐる、駐屯軍は昨冬の熱河作戰に通遼赤峰間六百滿里の強行軍を敢行して勇名を謳はれた黑谷大佐の○兵部隊である一行は此處で愈々鐵路と別れ、寢具食料及び小學校生徒に贈るお土產のノート鉛筆等を積んだトラックと南分省警察局で選拔した蒙古人警官十數名を乘せた大型バスを前後にして乘用車三台に分乘九日朝三千餘滿里の內蒙自動車突破のスタートを切つた、(西藤生)

滿洲國には徐々に活躍

高山東拓總裁抱負を語る

(大連國通) 東拓總裁高山長幸氏は支那視察の途二十三日午前八時入港のうらる丸にて檜垣秘書帶同來連したが船中左の如く語る

この春の山田理事の視察に引續いての視察だが此の前北平の湯爾和氏が東京に來た時二度會つてゐるので北平で同氏に會ひ靑島、濟南、南京、上海を經て來月廿四、五日頃歸京の豫定だ、黃ア氏の劉秘書の話によると黃氏は五月十日頃北平に歸るさうだから今度は會へぬかも知れぬが今度の南昌會議に於て黃氏が北支に日本資本を入れることを主張して同意を得たといふので何の程度迄眞實なのか北支の鐵道其他の產業等投資の事も考へてゐるかも知れないがかういふ事も確かめて見るつもりだ 東拓は滿洲事變以來國家機關にも拘らず働かないといふ非難を聞いてゐたが、實は花々しく活動〃來る實力がなかつたのだ、然し滿洲も帝政が施され、あらゆる產業が順調に發達して行くので、東拓もこれに順應して先づ新京に支店を作り、理事を常駐せしめて徐ろに活動を始めるつもりだ

尙ほ氏は廿五日朝九時發ハトで奉天に向ひ山海關經由北支に入る豫定である

營口英領事館復活

既報營口駐在英國領事館は前領事トライブ氏が靑島に轉任を命ぜられた爲め一時閉鎖されたが今回同領事館區域は奉天駐在英總領事館の區域に包括された

觸手を伸ばす

支那南洋華僑財團 本國を見限り滿洲國に投資

十五日奉天某機關に入つた情報によれば滿洲國の產業開發は今や全世界財閥の視聽を集めつゝあるが最近支那財閥の代表とも見られる南洋華僑團は、本國への投資の効果なきを見限り滿洲國への關心極めて深刻に動きつゝある、既に今春以來華僑團は數名の調査員を大連、奉天、新京、ハルビン等に派遣して實地調査をなさしめてゐたが今後一切の投資を滿洲國に注ぐことに根本方針を決定したものの如く某有力華僑の如きは早くも奉天に派遣員を駐在せしめる事となつたので關係方面の注目を惹いてゐる

革新過程の 文明諸國 政局の動向(上)

帝大總長 法學博士 小野塚喜平次

廣く文明諸國の近時の政局を見渡せば諸國を通じて存在する現象は經濟恢復と國家の革新の企圖が行はれてゐることである。長く憲政の母國として議會衆民制を誇り來れる英國に於ても、モズレーロザミーア一派のファッショ運動の擡頭を見ると共に、勞働黨の一部にてクリップス一派の過激手段の主張者が現れてゐる有樣である、ただ流石は英國だあつて國民の多數はまだ議會制度に信頼を失はず從來の政治家の指導力はなほ存在するも 傳統的の二大政黨が交互に政權を掌握する議會政治の慣習は近時衰へ、內閣は聯合制にして其權限は議會の協贊を經て屢々擴張せられ經濟上の自由放任主義は漸次に修正せられ政府の統制は概して其範圍を膨脹せしめて居る

◇………◇

更に佛國に於ても最近の經濟不況によつて國家の財政は難航を續けてゐる際に偶々バイヨンヌ市營質屋不正に關する政界腐敗の暴露の爲め民衆の議會政治家に對する憤慨が勃發し最右翼の王黨と最左翼の共產黨に宣傳煽動の好機會を與へ二月上旬一大騷擾を惹起したのであり其結果左右兩翼を除く擧國一致內閣が前大統領ヅウーメルグを主班として成立し、この紛亂せる時局收拾に當ることになつた次第であり議會は予算上の節約並に稅變更の獨裁權を政府に委任闘して先月十七日より約二ケ月間休會することとなつた由來佛國は第三共和制の下に於て政府は屢々更迭して政局安定を欠くの趣なきにあらざるも、是佛國特殊の政界事情の然らしむる所であつて其實國策及政治當局者は概ね比較的中庸穩健である。蓋し佛國民は其半數以上は農民にして其大部分は自作農であり、工業にも企業者多く且利子生活者たる小市民に富むが故に私有財產に對する愛着心強く資本主義の維持は輿論であり、從つて共產主義者の勢力は微弱であり其正反對なる極右王黨も亦衆望を得るの見込少く只民心が經濟界の不況に苦しみ政界の腐敗に憤慨するが如き時に際して此左右兩極端の人々は民衆を煽動して騷擾を惹起するの原動力と爲り得るのである、抑々佛國政府は群雄割據內閣更迭頻繁を以て有名であるが 內外の時局重大なるに當りて國民の信賴するに足る英俊老練の人が政權を掌り、議會の承認の下に準獨裁的手腕を振ふて以て時局を收拾したるの先例は稀ではない

◇………◇

一八九九年ワルテッタルーソーはドレヒユー事件に伴つた國內の大動搖を鎭靜し、一九一七年クレマンソーは獨軍優勢の爲國運危殆に頻せるの際政局を擔當し、遂に「戰勝の父」と呼ばれ、一九二六年經濟危機に迫れるの時ポアンカレは推されて首相の印綬を帶ひ通貨を安定し經濟財政の救世主となつた。今回ヅウーメルグの出馬の如きも之に類して居る、翻つて共產主義のソ聯邦とファッショ主義のイタリーとを顧れば、形式上は全國一体なるも實質上は一政派の專斷的強壓的獨裁の下に各々その國運の刷新を企圖しつつあることは略諸君の知らるる所と思ふ

ソ聯の回訓未着で北鐵交涉又復延期
今後とも私的交涉による方針
回訓到着次第再開

(東京國通)去る二十一日廣田外相とソ聯大使ユレニエフ氏と會見の結果、二十三日午前十時より大橋滿洲國外交部次長とソ聯側代表カズロフスキー氏との間に會見が行はれることに大体決定を見たが、右會見に對し必要なるソ國政府からの訓電未到着のため二十三日の會見は取止めとなつた、但し回訓到着とともに行はれる筈であり、北鐵交涉は今後ともこの種私的折衝によつて進捗を計る方針である

ソ聯更に誠意なし
滿洲國の觀測

最近北鐵交涉は會議再開の氣運が動き、又外交部北滿特派員施履本氏の渡日東上等あり今後交涉は進展を見るかの如く觀測する向きもあるが、右に關し消息に通ずる滿洲國政府當局筋では頗る所見を異にし、今迄の所ソ聯側の誠意は一向示されて居らず、價格等に關するその主張は未だ著しく過大のもので、たとへ再開するも會議は決して急速なる進展を期待し難く、滿洲國としては最惡の場合に處する方針を充分研究の必要があるとし、全然樂觀して居らず、施履本氏の渡日の如き何等會議の實質に關係ないものと述べて居る

商事部を解體 商事會社設立
委員會のメムバー決定

(大連國通)滿鐵並に傍系會社の販賣統制のため商事部を解體して商事會社設立計畫は去る十九日の重役會議で決定を見委員會を組織して最後的研究に着手する段取りとなつたが本日委員長以下委員の決定を見夫々通達された、その顏觸れは目下嚴秘に附されてゐるが仄聞する處によれば左の如く全員十三名である

▲委員長 山西理事
▲委員 總務部石本部長 中野文書課長、八木審查課長、商事部武部々長、清水庶務課長、前田地方販賣課長、弟子丸輸出課長、鹿野用度課長 三溝銑鐵課長、計畫部岡村業務課長、經理部市川部長

而して昭和製鋼所、滿洲化學工業、撫順炭坑同販賣會社等よりは必要に應じ適宜參加せしむることになつてゐる

鐵道改組は政府が決定
村上理事歸連談

(大連國通)鐵道問題の用向きで上京中の村上滿鐵理事は廿三日『うらる』丸で歸連したが左の如く語る

新線問題其他中央との折衝の用向きをもつて上京したが二週間の豫定が長くなつた、全滿鐵道の一元化統一等大分新聞や話では見聞したが、未だ滿鐵社議にのぼつた事もなく政府筋の議にものぼつて居ない、全滿鐵の鐵道を將來どうするかについては種々の意見もあらうが、改善すべき點ありとすれば滿鐵改組問題とは別個に事務的處理にまつ方が最良の結果を得ると思ふ、改組問題も國策上から種々の異論はあるが、結局滿鐵の根本は國策によつて決定すべきものだから總ては政府によつて最後決定がなさる可きである

再開の見込ない新疆線
東亞航空總理談

東亞航空公司總理の發表によれば上海新疆は奧地動亂のため、また廣東西安線は廣東における飛行場問題のためいづれも行惱み中であつたが新疆線は當分再開の見込みなきにつき過般來北平直通線の開航方準備中のところ(廣東にては石碑飛行場を使用なすと)いよいよ五月一日より開航することとなりその旨すでに鄭政總局及沿線各地に通報せり右平奧線(太原濟陽(一日)漢口長沙經由)は每週火木の二回發着にて當分『ユンケル』五百七十五馬力三四式を使用の筈なるがすでに七百馬力三式の二二式一台を獨乙に注文中の趣なり

なほ中國航空公司の上海廣東線は過般シコロスキー機遭難のため停航中なりしが近く重役會議の通過をまち七百馬力二基据付二台を米國に注文する筈である

國幣と大洋間に五圓の開き
中銀成行きを警戒

本日の新京建相場に依ると大洋對金票一一〇圓一〇、國幣對金票一〇五圓八〇となり、從來殆んどバーを稱へてゐた國幣對現大洋の關係が變調を呈し、大洋が國幣に比し四圓三十錢の高値を稱へるに至つたが、これは「國幣の平價切下げ」云々に關するデマが相當滿人間に不安を與へた結果で、中央銀行では成行きに愼重な警戒を拂つてゐる

原產地表記條令の實施
無期延期

(上海廿三日國通)當地海關は國民政府の命令により廿一日附を以て原產國表記條令の實施を無期延期する旨佈告した所謂輸入貨物原產國名表記條令は七月一日より實施されることとなつたもので、これによると日本よりの輸入貨物表記は支那文字或は日本文字に限られ、英語使用を許される英米國に比し非常なハンディキャップを付けられる事となり、我貿易業者の蒙る損害は甚大を豫想されたのであるが、今回右條令の無期延期は對日政策の一つの現はれとして注目さる

共產軍永安を占領

(福州廿二日發國通)福建中部の要衝、永安を攻擊中の共產軍の大部隊は十八日朝同地守備の中央軍新編第二師に潰滅的打擊を與へて同地を占領した、永安は福建西部の共產軍根據地から北部及び西部への捷徑に當り共產軍大部隊の永安進出は福建全部に對する重大脅威であつて東路剿匪司令部では陳明仁、龍和鼎の兩氏を派遣、共產軍の進行を喰ひ止めんとして居る

日滿鮮連絡運輸研究に田中氏來連

(大連國通)日鮮滿の密接なる提携は今後益々その度を加へんとし、運輸機關たる船車の連絡に就ては當事者間に熱心に研究されて居るが曩に滿鐵囑託となつた元鐵道省名古屋鐵道局長現鐵道局囑託田中信良氏は廿三日『うらる丸』で來連日鮮滿交通連絡の合理化を圖る下調査に着手すると

畑○團凱旋第一陣
役山部隊出發

(チチハル國通)上海事變出征以來更に北滿に轉戰し馬占山、蘇炳文の討伐終了後江省治安維持に當り赫々たる武勳を殘して二年振りに故國に凱旋する事となつた畑○團の凱旋第一陣役山部隊は本日午後一時五分發列車で內田領事、孫省長、張江省警備司令官、其他日滿官民小學生等三千餘名の打ち振る日章旗、怒濤の如き萬歲の聲に送られて凱旋の途についた

尚凱旋第二陣黑瀨○隊主力並に須永○隊の一部は引續いて一時五十分發列車で日滿官民の盛大な歡送を受け出發した

今年から復活の大板上の定期市

興安北分省廿珠爾廟と並び稱せられる西分省大板上の定期市場は事變以來杜絕の有樣であつたが、最近治安も回復し地方との交通も開始されたので本年久々に復活、六月中旬開市される事となり林西林東開魯方面の蒙古人に夫々傳へられた、同市場では蒙古人が彼等の牛馬等畜類と漢人の雜貨品と交換するもので、期間は二週間となつて居り期間中の賑ひが豫想されてゐる

印度紡績工大罷業か

(ボムベイ廿三日發國通)印度紡績工のストライキがボムベイを中心に廿三日中に起きんとする形勢にあるので、官憲側では嚴重警戒中であるが右ストライキは給與削減の抗議を意味するが、紡績家側は對日競爭のため綿布製作費引下げの上に於て已むを得ないと稱してゐる

台銀、文相問題で兩黨漸く硬化
兩總裁との會見で政局新に發展
政府諒解に狂奔中

(東京國通)現內閣が文相補充問題を懸案として徒らに其の解決を遷延せしめ居り陸相問題が

＝解決＝

したとはいへ台銀疑獄事件も相當に進展を見せてゐるので政府も弱つてゐるが、しかし何といつても、より根本的な問題として注目を惹いてゐるのは現內閣と政黨との關係が如何に成り行くかである、即ち現內閣と政友會及び民政黨との關係が漸次面白からざる事態となりつゝある事で、政府は今迄の如く出來るだけ友好關係を持續し重要政策の遂行に關しては黨出身閣僚を通じ又は適當の方法により適宜政民兩黨の諒解の上に善處せんとしてゐるが、政民兩黨は現內閣に對し信を置かぬ者もあり、鈴木、若槻兩黨總裁共に現內閣に對する再檢討を言明してゐる折柄近く行はるべき齋藤首相と鈴木、若槻兩總裁との會見はある意味に於ての政局發展に關するものとなるので

＝楔機＝

はないかに觀られてゐる、右に對する政民兩黨の態度は別項の如くである

政友は對政府絕緣にまで進展か

(東京國通)政友會では首相の訪問を受けたる場合如何なる態度を以て臨むべきやに就き目下首腦部に於て種々考慮中であるが、右につき政友會內多數の意向は政府援助に氣乘り薄で政府が所期するが如き結果を到底望み難い情勢にあり政府、政友間に橫たはる感情の阻隔は遂に絕緣にまで進展するのではないかとの觀測が有力である

成行如何で閣僚を引揚げ
打倒の名分なき以上從來通り
和戰兩樣の民政黨

(東京國通)民政黨では內閣打倒の大義名分なき以上從前通り積極的に援助することはもとよりの事であるが、政府が民政黨逆宣の政策を無視したり政治運用上から政黨を無視する樣な事があつたならば獨自の立場から山本、永井兩代表閣僚の引揚げをなし、政府と絕緣するは當然の事としその場合は政友會と共同一致齋藤內閣の打倒に邁進する所謂和戰兩樣の策戰で時局に善處することに決定してゐる

領事館設置を
陳外交部事務官語る

(門司發國通)滿洲國外交部事務官陳大益氏は二十二日朝門司寄港の日滿連絡船扶桑丸で來朝、直に東上したが同氏は語る

滿洲國の領事館設置は大阪に總領事館門司に名譽領事函館、新潟、敦賀の中一ヶ所にも名譽領事を置く他清津、京城、臺北に總領事を置くことゝなつてゐるが早急の實現は望まれない、しかしハバロフスク及びウラジオに領事を置くことはソウイエート國の承認を得たる上でモスクワに總領事を設置することゝ共に早く實現させたい

熙財政部大臣『訪日所感』放送

熙財政部大臣は二十四日午後[illegible]時三十分から六時まで三十分間に亘り訪日所感と題し新京放送局から全滿に放送する事になつた

遠藤廳長に代り飯澤法制局參事官放送

新京放送局で四月二十五日午前十一時〇五分より放送する事になつてゐる國務院總務廳長兼法制局長遠藤柳作氏の講演は都合に依り中止し代つて法制局參事官飯澤重一氏が講演放送する事になつた

江防艦隊用の皇帝旗大連到着

(大連國通)豫て高島屋において謹製中の滿洲國江防艦隊用皇帝旗はこの程完成、二十三日入港の『うらる丸』で高島屋店員木本和一氏附添ひで着連直ちに新京に向つた

定例閣議

二十三日の國務院會議に上提された議案は左の如くである

一、舊海關職員にして海關接收以來引續き稅關職員たるものに一時賜金を支給する件
二、稅關職員一時賜金公債法
三、大同二年敎令第六十六號廢止の件
四、滿洲採金株式會社法
五、滿洲採金株式會社の事業區域に關する件

關東軍平年化
敎育練兵を徹底す
第二次軍制改革の內容

(東京國通)現在陸軍は滿洲事變とそれに伴ひ發生すべき事態に對座する事を主眼としてゐた故暫定的部門が少なくないので陸軍當局は全部門に亘り第二次軍制改革を試みんと研究中であるが、現在の情勢は急激且徹底的に變革するは目睫に迫る非常危局に危險を來す故差當り

一、昭和八、九、十年の三年度に亘り策戰資材の整備を實現する模樣で有事の際資材の豫算に支障を來たさぬ樣兩者間の調和を圖る
一、關東軍の施設を平年化して敎育練兵の徹底を圖る事に重點を置きこれ以外の改革は三五、六年の現實的動向を見定めて後斷行の方針であり策戰資材の整備と平時の編成裝備の調和を圖る
一、本年打切る豫定の豫備敎育費を更に十年繼續すると共に其の全額を增大して新式策戰資材の操作敎育を現役、豫備役共に擴充する
一、平時部隊の損耗資材は努めて新式資材で補塡する方針で關東軍の敎育練兵の徹底の爲に關東軍の設置方針に相當英斷的變更を豫想されてゐる

浮かれ出た春 忘れもの、山
今月に入り新京驛で百五十件
案內所へ紹介のこと

陽氣のせいで浮かれたものが最近列車內に手廻り品を忘れ去る旅客が著しくふへて來た新京驛旅客案內所に保管する遺留品は多い日には十六、七件、少ない日でも六、七件はある正月以來の月別遺留品件數を調べると

▲一月中九五件
▲二月中一四四件
▲三月中一五二件
▲四月二十二日まで一五〇件

冬から春、夏になるにつけて日增しに增加するばかりで、今月などは幾十日あるのに早くも五百十件その中受取りに來た者は僅に五十四名で、三分の二はとりに來てゐない、昨年四月一日から今年三月三十一日まで一ケ年を通じて驚くなかれ一千五百三十六件、一日平均四 二件となる、なほ本月中の重なる遺留品は

▲風呂敷包十六件
▲鳥打帽、中折帽その他帽子類十六件トランク行李類八件
▲ハンドバック化粧道具四件

などで特にこれから夏にかけてはパナマ帽、日傘、洋傘などがふへて來る、注意したいものだ、なほ列車內置忘れ品は直ちに構內旅客案內所に問ひ合せること

讀者の聲

坭除けを自動車につけよ
坭水の嫌ひな男

最近の新京新市街は隨分道の惡い所がある、雨でも降れば、それこそ泥濘膝を沒する程で通行もなかなか困難であるしかるにこの惡道路を自動車が行人に遠慮會釋もなくブッ飛ばすのには全く閉口の限りだ その度ひ每に泥水がかゝらぬ樣によけてゐては近頃の如く自動車が頻繁となつてはたまつたものではない、さきに報道された新聞紙上によればこれら自動車に坭除けをつけるとのことであつたが、何時になつたら付けるのか？一日も早く付けて欲しい、これは事實目擊した事だが朝日通りを八九才の小學兒童が通行中後から來た自動車に泥をはね飛ばされ、泣きながら歸つて行つた、斯樣な時は徐行するなり、警笛を鳴らして兒童をよけさせて通るなり、そのくらいの道義心はあつてよいと思ふ、兎に角泥除けをつけるのは焦眉の急務として當局の考慮を促す

社告

帝國の生命線確保 滿洲國建設の大業に護國の鬼と化した幾多の忠勇なる英靈を慰め且つ其の功績を永遠に記念し滿蒙の護りたらしめんため新京、哈爾賓、齊々哈爾承德の四箇處に大忠靈塔建設の議成り目下廣く淨財を募りつつあることは屢報の通りであるが當社に於ても右寄附金受理の勞を執りますから各位の御寄附に利用して下さい、尙當社取扱の寄附金に對しては寄附者の氏名金額等を本紙に發表することになつて居ります

各位の熱誠なる御讚助を希望致します

昭和九年四月十八日

新京日日新聞社

偶語

好轉また逆轉、幾度か繰返された北鐵交涉も廣田外相の撓まざる努力で近く再開されるとある▼外相は北鐵問題の解決後更に日、滿、ソ關係の確保に三國委員會の設置を決意したといふが▼北鐵問題に對するソ聯側の態度は從來稍もすれば常軌を逸し、その誠意を疑はしめるものあつたのは遺憾で、これは極東の情勢に對するソ聯側の認識不足も多々原因してゐるやうだ▼認識不足といへば荒木は好戰、林は非戰論者と見て居る如き全く噴飯に値すべきで、一事で萬事が肯かれてモノがいへない▼寬城子街道、鐵道踏切の地下道建設がきのふの地方委員會で問題となり滿鐵本社への促進要望が可決された▼いつも事故が起る度ひに考へさせられる魔の踏切は新京市民に取つては大の鬼門でぜひ何とかしたいもの▼この際市民のため特に滿鐵側地方委員の努力をお願ひして止まない

新京區公示第四號
定期種痘施行ニ關シ左記ノ通新京警察署長ヨリ告示アリタルニ付テハ該當者ハ種痘及檢痘ヲ受ケラルヘシ
昭和九年四月二十三日
南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 荒木章

新京警察署告示第三號
來ル五月二日ヨリ左記ノ通リ定期種痘ヲ施行ス保護者及義務者ハ指定日時場所ニ於テ種痘及檢痘ヲ受ケシムヘシ但シ種痘ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ
昭和九年四月十七日
新京警察署長 高山勝司

第一期種痘ヲ受クベキ者
一、數ヘ年一歲及二歲ノ者但シ既ニ種痘ヲ受ケ善感シタル者ヲ除ク
二、前號ノ年齡ニ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者
三、數ヘ年九歲以下ニシテ未ダ種痘ヲ受ケサル者

第二期種痘ヲ受クヘキ者
一、數ヘ年十歲ノ者但シ數ヘ年八歲又ハ九歲ノ時種痘シタルモノハ除ク
二、數ヘ年十一歲ニシテ前號ニ該當シ種痘シタルモ不善感ナリシ者
三、數ヘ年二十歲以下ニシテ未ダ種痘ヲ受ケサル者
前各項ニ該當セサル者ニシテ未ダ種痘セズ又ハ種痘善感後五ケ年以上經過シ若ハ前年種痘シタルモ不善感ナリシ者ハ成ルベク種痘スルヲ可トス

種痘及檢痘日割

	日	時刻	場所
種痘	五月二日	自午前九時至午後三時	消防隊
	五月三日	同	同
檢痘	五月八日	自午前九時至午後	消防隊

譯文
新京警察署佈告第三號
[illegible]
昭和九年四月十七日
新京警察署長 高山勝司

計開
一、自生年起算到一歲及二歲者 但已受種痘善感者不在此限
一、於相當前條年齡已受種不善感者
三、自生年起算到九歲以下而未受種痘者
一、自生年起算到十歲者 但自生年起算到八歲或九歲時受種痘已善感者不在此限
二、自生年起算到十一歲者於相當前條年齡已受種痘不善感者
三、自生年起算到二十歲以下者而未受種痘者
右列各條指定年齡內未受種痘者宜於所定地點及時間聽候施種及已受種痘善感者經過五年以上或前年已種痘未種痘者亦務必前往種痘爲要
(日期因與日文相同略之)

新京飛行場出火
格納庫、事務室全燒
飛行機には全く支障なし
航空會社の倉庫も燒く

一部號外所報、二十三日午後三時十分新京郊外飛行第〇〇〇隊事務室に隣接する材料置場から出火、雨上りの天氣にも拘らずバラック建築のため火の廻り意外に早く火は忽ち同事務室を全燒、續く第一格納庫に延燒これまたまたたく間に全燒、北風にあふられ隣接航空會社倉庫をも全燒、同飛行隊員、新京守備隊消防隊の活動により同四時五十分漸く鎭火した、同建物はいづれも事變當時の建築にかゝるバラック建で飛行機には何等損害なきも航空兵一名輕傷を負ふた、損害凡そ三萬圓、原因は目下新京憲兵隊で取調べ中である

水不足の爲 送水に大童
撒水車まで出動

發火とゝもに新京消防隊並に城內消防隊は現場に急行消火に努めたが水不足のため兩消防隊共力で送水車並に撒水車を出動して西二條並に和泉町驛前の水管から運搬するとゝもに一方西二條通からは長くホースをつなぎ送水消火に努めた、

昨夜飛行場周圍を徹宵で大警戒

右飛行隊の出火と共に新京守備隊、憲兵隊、新京署、首都警察廳員は直ちに出動、飛行場の周圍警戒に當り、一般地方民の通行を禁じ二十三日夜は徹宵警戒に當つた

定期種痘

新京消防隊では五月二日、三日、八日の三日間午前九時から午後三時まで左記により定期種痘を施行す

第一期種痘をうける者

一、數へ年一歳及び二歳の者 但し既に種痘して善感した者はよい

一、前號の年齡に種痘して不善感であつた者

一、數へ年九歳以下で未だ種痘しないもの

第二期を受くる者

一、數へ年十才の者但し八才又は九才の時に善感したもの

一、十一才で前號の年齡に種痘しても不善感の者

一、二十才以下でまだ種痘をうけないもの又は種痘善感後五ケ年以上經過し若くは前年種痘したが不善感であつた者はなるべく種痘すること

皇太子殿下 御箸初めの御儀を行はせらる

（東京國通）兩陛下の限りなき御慈みの中にスクスクと御日立優れさせ給ふ皇太子殿下には二十三日早くも御降誕百二十二日を迎へさせられたので宮中では御慣しにより古式床しき御箸初めの御儀式を行はせられた

青岡中銀支行襲擊匪は 江省第一旅の脫走兵と判明

（チチハル國通）去る十三日青岡縣中央銀行支行に匪首不明の約卅名の匪賊が拳銃を所持發砲し乍ら亂入、春耕資金廿一萬圓を强奪何れかに逃走した事件につき當局に於ては江省軍警備隊、自衛團等と協力嚴しく搜索を行つてゐたが本日某所に達した情報によれば該支行を襲擊せる匪賊は去る四月上旬展子山駐屯江省軍混成第一旅第三團第三聯砲隊長の率ゆる二十四名の逃亡兵なることが判明すると共に目下慶城縣下綏稜鎭方面へ逃走し地方を擾亂しつつ前進中なるとの報に接した江省軍並に警察團、自衛團等は之が徹底的討伐を敢行目下追擊中である

賣掛代金 千五百圓を受取り逃走

市內三笠町三丁目十二番地絹織物御商渡邊光治氏方店員滿人張恩有（二三）は入船町三丁目同和商會に賣掛代金一千五百圓に目を付け主人渡邊氏が出張中を奇貨とし前記一千五百圓を前後三回に亙つて受取り去る十八日同家を逃走しかねて馴染を重ねてゐた平康里大觀樓抱へ妓女金子（二五）を落籍し安東に逃走してゐるを二十一日旅行先から歸つた主人が探知し新京署へ取押へ方を願出た目下同署では安東署に取押への無電を發した

競馬で 滿電ホク〳〵

春の競馬第一回は既報の通り二十一、二の兩日續いて、二十三日は雨天中止となつたが市民間の人氣沸騰は圖らずも滿電競馬場行バスの乘客料金として現はれた、初日は惡天候で大したことはなく、バス乘客は僅か七百二十六名、金額にして百八圓九十錢、初日に引較べて二日目の二十二日は日曜で滿電バスの大當り、二千二百八十四名、金額にして三百四十二圓六十錢、昨年は二十錢とつたのを今春は五錢安く十五錢にしたが、利用者の多いため昨年よりは今春の方がずつと收入は多いだらうといつてゐる、なほ二十七八、九、三十日の第二回競馬にも三台の自動車で午前九時半から午後七時まで十分毎に發車すると、なほ乘客が多ければ三台の自動車は四台になす手配はしてある

五ケ年計畫で 全滿要地に國立救療機關 豫算百八十萬圓

滿洲國政府では例年全滿を襲ふ惡疫の流行に鑑み、本年度より五ケ年計畫をもつて全滿各主要都市に國立救療機關を設け防疫施設と相俟つて流行病の根絶を期する事となつた此の計畫によれば、總豫算百八十萬圓を以て左の各地に國立病院、醫院、診療所を設ける事となる譯だ

（イ）病院設置豫定地 新京、奉天、哈爾賓 龍江 承德、吉林、

（ロ）醫院設置豫定地 富錦、三姓、大黑河、海拉爾、海倫、寧安、兆南、海龍、赤峰、遼源、錦州、通遼、營口、安東、敦化

（ハ）診療所設置豫定地 前記以外の主なる都市五十ケ所

魔の踏切にかゝる地下道を建設
滿鐵本社へ實現方を促進
昨日の地方委員會

新京區地方委員會の四月例會は二十三日午後一時二十分から地方事務所長室で開催、大原議長を始め佐藤、山口、加藤、伊東、五味、勘崎、黑田、得丸、沼田、中山、孫、宛、劉の諸氏出席し

一、實業補習學校規則改正に關する件

二、衛生係分離に關する件

三、第三區長（島名福十郎氏）辭任に關する件

四、區長增員並に分擔區域改正に關する件

を議題に供しいづれも異議なく可決、衛生係分離に關しては小委員會を設置し當局の具体案について更めて研究することゝし、また區改正については既報の十一區制を大体認めることゝし細部に亙つては當局および區長會の意嚮に待つことになつた、終つて阪東衛生主任から附屬地衛生施設狀況その他につき說明がある最後に中山、加藤岡委員から例の魔の踏切り寬城子街道の地下道建設について協議の結果、滿鐵本社にこれが促進要望を全會一致可決、折柄飛行隊の火事騷ぎがあり同三時すぎそのまゝ散會したが、同地下道問題についてはいづれ改めて再び議題に供し、ぜひ早急實現を期することになるもやうである

首都警察廳 警士採用試驗

廿、廿一兩日首都警察廳の警士採用試驗の結果六百餘の應募者中八十名合格、二十三日採用決定が發表されたが、廿四日より二週間長經路警察署に於て訓練を受け各署に配屬される筈である

實補學校の規則改正 授業料値上げ

新京實業補習學校では今度新たに語學研究科を設置し、また學習時數を增加するなど現行規則の改正を行ひ、內容の充實を期することになつたがその結果、授業料一期一圓を左の如く改正、實施することになつた

一、學科制、一期、金二圓

二、學年制、一ケ年、金四圓

三、語學研究科、一期、金三圓

但し學科制および語學研究科の日本語を學習する滿洲國人は各々その半額となつてゐる

向上會と白ゆり會 講演を聽く

修養團新京支部では二十五日午後六時から新發屯白菊會舘（新滿倶樂部）に於て向上會並に白ゆり總會を開催し去る四月三日全滿教育團より選ばれて國民精神作興大會に代表出席の上御親謁を賜はりたる上原室町小學校長並に先月來國賓として訪日した鄭總理大臣の隨行法制局事務官賀嗣章氏に意義深き感想講演を請ふことゝなつた、團員たると否とに拘らず一般多數の御來聽を希望すると

槍投で 日本新記錄

（大阪國通）近畿陸上競技會主催の學生對一般の競技大會が廿二日午後甲子園グラウンドで擧行されたが關西大學の長尾三郎君は槍投で六十八米五十九と云ふ日本新記錄、世界的の好記錄を出した

故橋口氏令孃の告別式

新京特別市政公署總務處長令孃、故橋口功子さんの告別式は二十三日午後三時から曙町大正寺で執行されたが金璧東市長、荒木地方事務所長、大原地方委員議長、山成中銀副總裁その他各方面から贈られた花環が所狹きまでに供せられ葬儀委員長五十嵐中銀理事以下各委員、その他各方面の名士多數參列して極めて盛儀のうちに同三時半閉式した

夢禪茶語「六」
大正寺詰 甲斐布教師稿

哲人は水を呑みました 僕は玆で話をズーット元に引き戾したい

東西兩代表は「生者共通の願は生きたい！」の一言に盡きると云つた…僕も此の說には同感だ！然るに東部代表は其の願求に基いて生命本能を說き而して遂には「上に對する抗爭」を敢へてする…己の生きる爲めに己の强敵に抗爭する…

西部代表はどうか！同じ願求に立脚して『生きるため』の鬪爭を認め…「己の生きるために弱者を征服する」

諸君よ！心靜かに反省して見よ

今之の兩代表の說と最後に僕が試みた「蜜蜂と栗種子の戀」の物語とを對照して見よ

前兩者は『生きる』爲めに傷け合ふ…

後者の蜂と栗種子は感謝し合ひ乍ら生き而も無限の生命欲求を滿し得る…

『解つた!!』

彌次に非らず謝禮の詞だ

『まだまだ釋迦は死に直面しながら弟子の爲めに追說し追懲したと云ふ』

『ヤッーお釋迦樣!!』

微かな笑聲が起ります

陰盡き陽歸る春の山野！絕詩だ！極樂淨土だ！

草も木も永い陰慘な冬から逃れて惠みの春に醉ふている…歌へ！稱へよ春の幸を！」…と

苦塵を拂ひ着更へた春衣！青葉若葉の綠り取り交ぜ…風にユラユラ稍の葉ずれ…空高く雲雀啼き…地廣く小鳥囀づる

『ヤウ！詩人！』

哲人が詩人と呼ばれました

『だまつて聞け！』

誰かが彌次を制します

諸君！大地は一卷の詩だ！活法だ！昔僧禪に人が問ふた「法佛滴々大意如何？」…と禪僧は答へた曰『露堂々！』と然り眞理は覆藏されず具眼者が見れば一事一物眞理の顯現だよ

極樂淨土を十萬億土の彼方に求めて徒らに精魂を勞する者前に云ふ『眞善美』の指導原理を他に求めて遂に握り得ざると同一だ

『最高の人格化』を希望しながら常に爭ひ常に傷つけ合ひ退化の途を辿りながら『光』を失ひ『理想』を失ひ遂に滅び行く…此が御互の『人生』である悲しいことだ…

『知つて犯す之大罪』と言ふ言葉がある、之の言葉から推して行けば御互は助りこない大罪人だ！『キリスト』が『罪の子』と云つたとか確かに適評だ』

『助けてくれ！』と悲鳴に似た彌次が飛び出しました

『僕は思ふ！人間と云ふ畜物はヨッポド馬鹿な動物だ』と

『何が馬鹿だ』

『哲人取消せ』

血の多い學徒だもの…騷ぎだしました、サアーことです

だが哲人は平然たるものです

『M！前言を取消せ！』

子を思ふ親心です、久し振りに先生が口を開かれました

「失言でなく、過言でもない！僕は取消す要を感じない」

哲人は頑張ります

『では人間馬鹿釋明を要求する！』

南支への旅（七）
新京高女修學旅行團

車を突角陣地に向けて走らすと當時從軍せる在鄉軍人の方に戰況を伺ふ、はるか彼方の林聯隊長戰死の場所にも默禱を捧げて再びバスを上海新市政府に急がす、このあたりは未だ民家は一軒も建てられてゐない道路だけは坦々として廣く長くとても立派なものだ上海市はこゝを中心として民國政權の自由に行ひ得る繁華な市街を目企んでゐるのである市政府廳舍は廣い野原の眞中に、一人お山の大將をきめ込んでゐるのは、寧ろ滑稽に見えた、併し、赤、青、金色に塗り立てゝ素ばらしく念の入つた、出來榮は、日光の陽明門を遙かに淩いでゐる、新公園を通り、上海神社及招魂社に玉串を捧げる、社殿は白木造り、木の香も高く境內は廣くはないが玉砂利の白い道をザクザクと踏んだ時今私等が異鄕の上海にゐるのだとはどうしても思へなかつた、六三園に行く、こゝは上海一の日本料理屋の庭園である事變の時宏壯な家屋は燒き拂はれて、その跡方も留めてはゐないが、目下槌の音高く響かせて、新築を急いでゐる廣い芝生には眞白いテントを張り紅白の幕を廻らせた會場で民團からの大歡迎を受けた、民團行政委員長安井源吾氏の、歡迎の辭に次いで私達は感謝の意をこめた花束を差上げ、御挨拶を申して設けの席に着く、大きな二重折詰とおすましとが供せられる、全く思ひがけない過分の厚遇なので思はず眼頭が熱くなる、續いてお話を承る、今日も女學校の方々が大變お世話下された共に記念寫眞を撮る、女學校の方と一緒に海軍特別陸戰隊を訪問し、司令官より歡迎の辭をうけ、花束を差上げ、御慰問の言葉を申のべる、後で安田少佐の上海事變の御話を拜聽しモダン兵舍の內部を參觀する、今三千人ほどの兵隊を收容してゐるとの事炊事場のお釜の大きなのには一同驚嘆する、一日に米十三俵、麥十俵、あまり數字の大きいのに後の言葉も出なかつた、裝甲自動車庫前で水兵さんや女學校の方等と記念撮影をする、お暇申すつもりの所又々歡迎會、將校會議所で茶菓の饗應

歸途女學校を訪問、校舍は陸軍兵舍のお古、お氣の毒なほど狹く且設備も大してよくなかつた、あんな親切な方々がこの學校の卒業生と思へば外觀や設備の如何はよき教育の標準をなさないものだと、つくづく思つた、ちやうど入學考査を終へられた所で、あつたのに又又茶菓を用意せられてゐた

今日はどう云ふ日柄なのだらうか、私等は歡迎！歡迎と全く歡迎責めにくたくたに疲れて了つた、疲れた足をひきひき女學校の方に手を引かれて二十分許りの道を、徒步で歸宿

「今夜も買物の案内にお伴しませう」とのお姉樣方の御厚意に嬉しくてたまらず、急に疲がなほつて、元氣よく食堂に飛込んだ、（谷幽香子）

滿鮮 漸く具體化して來た オリムピック
實現は五月中旬か六月上旬

朝鮮體協では滿洲國の極東大會參加不能につき深くその立場に同情して居り一は滿洲國側を慰める意味と一は朝鮮のスポーツ界向上のため此際鮮滿オリムピック大會開催の意向を有し過般非公式に滿洲國側に通達するところあり滿洲國側でも非常に乘氣になつたので朝鮮体協では二四日緊急理事會を開き具体案を作成して滿洲國體協並に滿洲體協へ正式招請狀を發することゝなつたが右滿鮮オリムピック大會が實現するとせば期日は大體五月下旬か六月上旬の豫定である右につき滿洲國體協では次の如き意向を洩してゐる

未だ正式の交涉を受けて居ませんが既に簡單ながら電報が參つて居りますので朝鮮側の意のあるところは存じて居ります、しかし之に對する態度は理事會を開いた後でなければ決定しませんし今後の極東大會の成行が不明なのではつきりした返事は出來兼ねますが滿洲國側としては大いに贊成で出來るだけ實現したいと思つて居ます、これは日滿對抗とは別個のもので競技種目等は今度の大會に當方が準備した種目を中心に擧行されることになると思ひます

奉天ヤマトホテル 怪殺人事件
五千圓を持つて行つた 銀號の店員刺殺

（奉天國通）二十三日朝ヤマトホテル三階二百三十號室において血腥さき殺人事件があつた、今朝十時頃加茂町の錢莊祥隆銀號にヤマトホテル投宿人より「兩替し度いから金票五千圓分を國幣で持つて來て貰ひ度い」との電話があつたので同銀號の使用人營口縣生れ江振公（二二）が國幣四千八百六十圓を持つてヤマトホテルに赴いた儘歸つて來ないので同銀號では不審に思ひ一時頃ヤマトホテルに赴き調べたところ意外にも同ホテル三階二百三十號室に於いて鋭利なる短刀で右頸部を拳大程えぐられその他頭部、胸部二三ケ所に傷を受け殺害されて居るのを發見大騷ぎとなり直ちにその旨奉天署に急報したので同署司法係では俄然緊張の色を見せ同室の投宿人自稱陳石珍（三〇）を眞犯人とにらみ三浦主任指揮の下に刑事總動員で大活動を開始した

鐵路局員 止宿客陳某は

（奉天國通）怪殺人事件の指名犯人たる二三〇號室投宿人は宿帳には職業鐵路局員陳石珍と認めて居り昨日午後一時過ぎ投宿したもので同人は昨夜も驛前某錢莊に電話をかけ兩替したいから現金を持參せしめたが使のものが二人で來たので兇行を思ひとどまりその儘歸し今朝前記祥隆銀號に同樣電話をかけて同銀號の使用人江振公が單身同人の室にやつて來たのを奇貨としやにはに短刀を振つて江を殺害した上江の持參した國幣四千八百六十圓を拐帶豫め待たせてあつた市內富士町廣島タクシーの自動車二二一號に打乘り何れかに逃亡したが犯行は午前十時より十一時の間に行はれたもので兇行のあつた現場には兇行に使用した刄渡五寸の短刀を遺棄してあつたのみで他に證據となるべきものはなく室へは鍵がかけられてあつた犯行の場所が各國人の投宿して居るヤマトホテルであるだけに大センセイションを捲き起して居る

法政勝つ 明法補回戰で
4—2

（東京國通）六大學野球リーグ戰明治對法政は廿三日午後二時七分より神宮球場に於て森田、片桐、齋藤、森の四氏審判の下に法政先攻で開始され、明治は一回に二點を得たるに對し法政は二回一點、九回一點を得補回戰に入り法政十回目に二點を擧げ、結局四對二にて法政勝つ、閉戰四時十分 バッテリー左の如し

△法政 若林、藤田

△明治 折井、山脇、追畑

三木選手 强豪を屠る

（ロンドン廿一日發國通）廿一日擧行のメルベル倶樂部庭球トーナメント決勝戰に我が三木選手は今シーズンに入つて全勝零敗の好調にある强豪ビヤソンカービーを破つて優勝した、スコア左の通り

三木 七―五 五―三 カービー

居住消息

▲國柄武美氏（秋田縣）吉野町一丁目五番地へ

▲齋藤德次郎氏（群馬縣）吉野町一丁目二十二番地へ

▲伊藤博氏（大阪府）中央通り三十六番地へ

▲井上吉次郎氏（福岡縣）奉天から平安町二丁目七號ノ四へ

▲神岡房雄氏（新潟縣）花園町五丁目一番地へ

▲松田實氏（靜岡縣）大通から花園町五丁目一番地ノ十三號へ

▲井上德一氏（群馬縣）吉野町一丁目三番地へ

▲洮余新一氏（山口縣）敷島通り二百四十一號へ

▲千布高次氏（佐賀縣）露月町一丁目六號ノ二へ

▲鯉沼兵士郎氏（栃木縣）西平街から常盤町二丁目四番地へ

▲安部幸雄氏（東京府）祝町三丁目中央公舘へ

▲濱田豐平氏（山口縣）三笠町三丁目十六番地へ

轉居

▲田中敏則氏寬城子から吉野町一丁目六番地へ

家屋競賣廣告

一、當社事務所 公主嶺敷島町一丁目參番地宅地一一五一平方米四三（參四九坪）所在本家、煉瓦造鐵板露西亞葺平家一棟此面積二四三平方米一二五（七三坪五合）附屬倉庫、煉瓦造鐵板葺平家一棟此面積三一平方米五（九坪五合）

二、一號社宅 公主嶺楠町二丁目十五番地宅地一〇九九平方米二二（三三二坪五合）所在木家、一戶建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積一一四平方米九二二（三四坪八合）附屬倉庫、木造鐵板張一部煉瓦造平家一棟此面積四三平方米九（一三坪）

三、二號社宅 公主嶺楠町二丁目十六番地宅地九二二平方米二四（二七九坪四合）所在本家 四戶建煉瓦造瓦葺平家一棟此面積二三九平方米二五八（七二坪五合）附屬物置木造掘立鐵板張二棟此面積二六平方米四（八坪）

右當社所有家屋ヲ左記ニ因リ競賣可致候

一、競賣期日 昭和九年四月二十八日午前十時

一、競賣ノ場所 當社

一、競賣方法 入札

一、開票 即時

一、保證金 入札價額ノ二割以上ヲ入札ト共ニ納入

一、競落代金拂期日 昭和九年四月三十日

一、家屋受渡期日 同日但シ會社事務所及二號社宅四戶建ノ內一戶ハ當社ノ清算事務結了迄（本年六月末ノ豫定）當社ニ對シ賃貸スルモノトス

一、入札價額ニシテ何レモ當社ノ豫定價額に達セサル家屋ハ即日再入札に付ス

昭和九年四月二十三日

公主嶺敷島町一丁目三番地
公主嶺取引所信託株式會社
清算人

日本の聖女

(上演上映)

生田葵

南部龍平畫

九一 女盗賊 (三)

「何をお盗まれやしたのや」

番臺の上から店番の婆さんが聲をかけた。

「財布どすえ、お金が三圓餘り這入つてゐますのえ」

お客の中年増さんはあわて切つてゐた。

それでも湯上りの眞つぱだかでゐてはをかしなものと思つたらしく着物を引かけ出した。

もう、すつかり衣裳附を終へて歸つてゆくばかりになつた小いきな年増女は、さわぐ中婆あさんの方を見ながら、さもおどろいた調子で、

「まあそんな大金を、間違ひなく持つてお出でになつたんですか此處へ來る途中でお落としになつて今締めて氣がついたと云ふやうなことぢやありませんか」

「いゝえ、そんなことありまへん、間違ひなしに此處の衣物の下へ置いたのを、覺えてゐますのどす」

命を盗まれた中婆さんの語氣は強かつた。

さうした騒ぎを聞つけたものらしく、男の脱衣場の一端から釜場の方へ通ずる土間の上に湯屋の主人らしい老人の顔と、その娘らしい若い女の顔が見えたが番臺の上の婆あさんはその方を向いて、

「お金をとられたと云ふてやはるのや。お前さん、見て上げておくれ、思ひ違ひと云ふこともあるさかい。」

湯屋の主人と云ふのは男の脱衣場を通つて、女の脱衣場へと這入つて來た。

「誰か今歸つて往つたお客はあるのかい」

湯屋の主人が番臺の婆さんに訊いた。

「えゝ。いつも來るそこの鳥屋の女中さん二人だけや」

中婆さんはさうこたへて胡散くささうな眼で小いきな年増女の方を見た。

それにもかゝはらず小いきな年増女は、そんな人々のさわぐのを何等氣にしない態で入口の方へと身體を動かし、片足をそこの土間に脱ぎ捨ててある、履物の上へと降ろした。

「あんた濟みまへんが、お聞きの通りのことが起つたんですさかい歸るのを些と待つて、おくれやす」

湯屋の主人が小いきな女へと聲をかけた。

「えらい迷惑どすな。私は家に待つてゐる人がゐて、早く歸らなけりやならないんですから、お調べなら私の身體を調べて早う歸やしておくれやす」

肩をきりゝと上げたのに憤つた心地を見せた小いきな女は、そんなに云ひながら上へと立ち返つて來やうとはしなかつた。

これは正しくこの小いきな女の仕業に違ひないと、湯屋の主人は思ひ込んだが、それでも流石に口へは出さなかつた。

「疑ふの何のとそんな理由やおへん。お澄はお察しいたしますが今町内の自身番の人を呼びにやりますさかい、その人の來る迄待つておくれやす」

困つた顔つきをした湯屋の主人は、側にゐる娘を振顧つて、自身番へ行つて町役人に來て貰ふやうにしろと命じた。

「私、そんなお役人が來る迄待つてゐられません、さうお云ひるのはやはり、私に疑ひをかけてゐなさるんだらうから、お前さんが調べたらいゝぢやないの、私帶を解いて着物をふるつて見せて上げますよ」

女は然としていった。

×　×